保管用

オフィスサインMシリーズ　取扱説明書

・伝送ユニット（M型）を使用するシステムをMシリーズと呼びます。

・表示する人・表示する位置は決まっています

・オフィスサインMシリーズには、次の様な３種類のシステムが構成できます。

１，出退表示システム

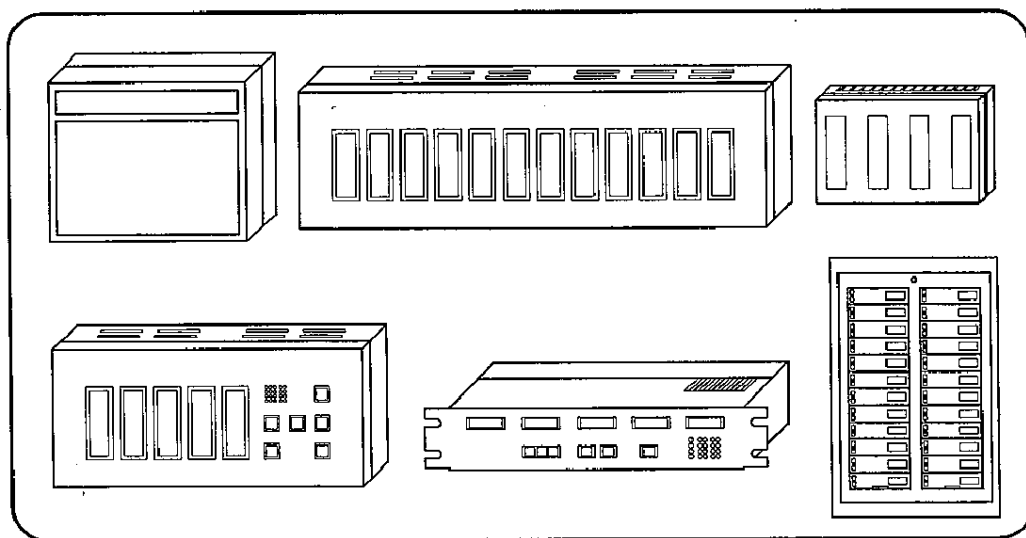
２，トイレ緊急呼出表示システム

３，応答連絡システム

・<出退表示システム>と<応答連絡システム>のどちらか一方を選択して使用することができます。（両システムの同時使用不可）

・<トイレ緊急呼出表示システム>は、<出退表示システム>もしくは<応答連絡システム>との併用が可能です。

※必読のお願い：商品を施工される前、およびご使用になる前にこの説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。

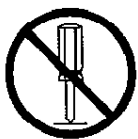
※保管のお願い：施工後は必ずお客さまに取扱いの説明を行なっていただき、この説明書をお渡しの上、保管をお願いしてください。

松下電工株式会社

EDN72201-014
V02

安全に正しくお使いいただくために

このシステムを正しくお使いいただくためや、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、次の内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の意味

警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると使用者が障害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

一般的な禁止	分解禁止	必ず行う	おすすめします

⚠警告

■ 取り扱い管理される方へ

禁止

〈用途〉

- 出退表示システム、応答連絡システムの端末（表示盤、表示器、操作器等）を、非常通報の用途（トイレ緊急呼出表示システム、ナースコール等）には使用しないでください。

〈取扱い〉

- 表示盤・壁掛型表示ユニット上部及び下部の通気孔を絶対にふさがないでください。故障の原因となります。
- オフィスサインの商品は屋内専用です。防沫型の表記がない商品はぬれた手で機器をさわったり、屋外など水のかかる場所では使用しないでください。感電や故障の原因になります。

〈ケーブル〉

- 通電中、操作器・表示器のモジュラージャックを抜き差ししないでください。感電や故障の原因になります。
- 電源・信号ケーブルに家具などの重いものをのせないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源・信号ケーブルは、たばねて使用しないでください。発熱する恐れがあり、火災や焼損の原因になります。

〈その他〉

- 当社エンジニアリングセンター・エンジニアリング会社以外の方は機器内部に手を触れないでください。感電や故障の原因になります。

分解禁止

- 機器を分解したり、修理・改造はしないでください。故障の原因になります。

必ず行う

- トイレ緊急呼出表示システムの使用時、システムの電源は24時間通電願います。万一の呼び出し操作があっても表示できず、救助に障害が出ます。

■ 施工・点検される方へ

禁止

〈取付け〉

- 壁掛型表示盤及び壁掛型表示ユニットは天井面に密着して設置しないでください。放熱が十分に行われず、故障の原因となります。
  また、大型窓の表示盤では、扉が天井面と接触し開かなくなる恐れがあります。天井面との間に最低限次の隙間を確保してください。
  - 表示盤（窓サイズ：１００ｍｍ×３０ｍｍ）及び表示ユニットでは、15mm以上必要です。
  - 大型窓の表示盤（窓サイズ：130mm×40mm）では、60mm以上必要です。
- 通気孔が表示盤・壁掛型表示ユニットの上部及び下部にありますので、この穴を絶対にふさがないでください。また、オフィスレイアウト変更によって家具などが通気孔をふさぐような場所には、設置しないでください。

⚠警告

■ 施工・点検される方へ

〈取付け〉つづき

- 壁掛型表示盤の重量は約3ｋｇ以上ありますので、設置される壁は十分な強度があることを確認してください。また取付ける場所の状況によって、ＡＹプラグボルト（Ｍ８）またはホールインアンカーボルトをご使用ください。
  木ネジなどを利用した取付けは、絶対にやめて下さい。振動等で抜け落ちやすく、人身事故につながる危険があります。
- 屋外において電線による信号配線は行わないでください。雷サージの影響により回路基板が故障するおそれがあります。
- オフィスサインの商品は屋内専用です。防沫型の表記がない商品は、屋外など水のかかる場所に設置しないでください。感電や故障の原因になります。

〈ケーブル〉

- 通電中、操作器・表示器のモジュラージャックを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- 工事、施工時のゴミなどは機器の中に残さないでください。感電や火災・故障の原因となります。
- 電源・信号ケーブルに家具などの重いものをのせないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源ケーブルは、たばねて使用しないでください。
  発熱する恐れがあり、火災や焼損の原因になります。

〈電圧〉

- 定格以外の電圧では使用しないでください。
  感電や火災・故障の原因になります。
- 信号入力端子に電源線（ＡＣ１００Ｖ等）を接続しないでください。他の接続機器及び本機器の故障や発火の原因になります。
- 信号線への絶縁試験（メガテスト）は絶対に行わないでください。
  他の接続機器及び本機器の故障や発火の原因になります。

〈トイレ緊急呼出表示（警報呼出表示）システム〉

- 次の内容を無視して誤った取り扱いをしないでください。誤動作の原因となります。特に『トイレ緊急呼出表示（警報呼出表示）システム』を使用されている場合、万一の呼び出し操作があっても表示できず、救助に障害が出ます。
  - 接続されている全ての表示盤（ブザー付）、埋込型表示ランプ（個別用・復旧釦付）（呼出表示用）は、設定チャンネルの重複をさせないでください。
  - 『トイレ緊急呼出表示（警報呼出表示）システム』は当社指定の商品以外は接続しないでください。
  - ＥＩＡラック型表示盤（呼出表示用）のラックを動かす場合、ＥＩＡラック型表示盤に接続されている電源線・アース線・信号線・埋込型ブザー停止操作器（一括復旧釦付）（呼出表示用）用引き出し線を引っ張るなど応力をかけないでください。

⚠警告

■ 施工・点検される方へ

分解禁止

● 機器を分解したり、修理・改造はしないでください。
故障の原因になります。

必ず行う

〈ケーブル〉

● 次の内容を無視して誤った取り扱いをすると誤動作の原因となり、特に『トイレ緊急呼出表示（警報呼出表示）システム』を使用されている場合、万一の呼び出し操作があっても表示できず、救助に障害が出ます。
  - 信号線には必ず銅製ペア線（シールド付）で、かつφ1．2かφ0.9か1.25mm²（素線径φ0.18以上）をご使用ください。但しφ0.9の場合、伝送ユニットからの配線可能距離はφ1.2の場合の1/2になります。
  - 電源線・アース線と、その他の線（信号線など）を以下の配線としてください。
    30cm以上離すか別配管で配線のこと
    通線はセパレーターで分離すること
    機器へは別々の入線孔に通すこと。また機器内でそれら同士を接触させないよう注意すること
  - ケーブルは機器へは必ず入線孔から通線させ、ケーブルが内部機器と接触させないよう配線してください。

〈信号線のシールド〉

● 次の内容を無視して誤った取り扱いをすると誤動作の原因となり、特に『トイレ緊急呼出表示（警報呼出表示）システム』を使用されている場合、万一の呼び出し操作があっても表示できず、救助に障害が出ます。
  - シールド線のシールドアースは、伝送ユニットのみでアースを落とすことになっています（単独アース）ので、他の接続機器は、シールド線が函体に接触しないよう、絶縁用ビニールテープ等で確実に絶縁処理をしてください。
  - 信号線のシールド線は、各端末ではアースに落とさないでください。（システムが誤動作する場合があります）伝送ユニットで一括してアースしてください。
  - 接続機器やモジュラージャックへの配線で、ジャンクションボックス、スイッチボックスまたはアウトレットボックス内での接続となる場合は、信号線およびシールドが函体に接触しないよう、絶縁用ビニールテープ等で確実に絶縁処理をおこなってください。

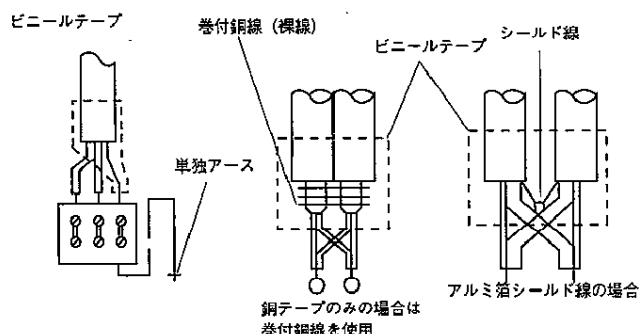
⚠警告

■　施工・点検される方へ

必ず行う

〈信号線のシールド〉つづき

● 次の内容を無視して誤った取り扱いをすると誤動作の原因となり、特に『トイレ緊急呼出表示（警報呼出表示）システム』を使用されている場合、万一の呼び出し操作があっても表示できず、救助に障害が出ます。

・ 信号線（シールド付）同士の接続は、ジョイントボックスまたは圧着仕上げによってシールド線同士の連結接続をおこない、信号系統全体において信号線のシールドが全てつながるようにしてください。またシールド線が函体に接触しないよう、絶縁用ビニールテープ等で確実に絶縁処理をおこなってください。

・ シールド線の端子への接続は確実かつ締め付け圧力によりシールド線が切れないようにおこなってください。

・ シールド線の末端は切りっぱなしにするとショートしますので、函体や信号線自身に接触しないよう絶縁用ビニールテープ等で確実に絶縁処理をおこなってください。

〈アース〉

● AC100Vを供給する機器（但し表示ユニットを除く）は、アースを必ず接続してください。
（第3種接地相当以上（100Ω以下）。アースを接続しないと感電の原因になります。

⚠ 警告

■ 施工・点検される方へ

必ず行う

〈トイレ緊急呼出表示（警報呼出表示）システム〉

- トイレ緊急呼出表示（警報呼出表示）システム用の表示盤（ブザー付）・伝送ユニット・中継増幅器は専用電源（100V）を使用してください。
- トイレ緊急呼出表示（警報呼出表示）システムの表示盤、壁掛型表示盤のブレーカーへの電源線の接続は、棒圧着端子をお使いください。使用されない場合、接触不良の為、発火の原因となります。
- トイレ緊急呼出表示（警報呼出表示）システムの表示盤（ブザー付）には「自己診断故障報知機能」を搭載しています。管理人など常時人が居る所に必ず設置してください。

〈その他〉

- 端子ねじは確実に締め付けてください。
  ゆるみが生じると火災の原因になります。
- 施工・点検時には必ず主電源を切ってください。
  切らずに行うと感電の危険があります。
- オフィスサインの商品は、専門のエンジニアリングと電気工事が必要です。当社エンジニアリングセンター・エンジニアリング会社にご相談ください。工事に不備があると事故の原因になることがあります。

⚠注意

■　取り扱い管理される方へ

禁止

● 本体上面に他の機器を置かないでください。ボックスが歪んだり、排熱がうまくできなかったりすることにより、本体が故障するおそれがあります。

必ず行う

〈用途〉

● 本商品は次の環境条件にてご使用下さい。
  - 動作温度範囲：0℃～＋40℃
  - 相対湿度　　：10％～90％RH
  - 使用電圧　　：AC100V±10％　50または60Hz

〈トイレ緊急呼出表示（警報呼出表示）システム〉

● トイレ緊急呼出表示（警報呼出表示）システムは非常をお知らせするシステムです。（人命救助の商品ではありません）
● トイレ緊急呼出表示（警報呼出表示）システムの操作器（スイッチ）の近くには、そのスイッチの使用用途の掲示をしてください。
（例：気分が悪くなった人はこのスイッチを操作してくださいなど）

〈その他〉

● ご使用前には商品の施工が正常に完了し、電気配線が完了した事を確認されてからご使用ください。工事に不備がありますと感電や火災の原因になる事があります。
● 電源プラグが確実に差し込んであることを定期的に確認してください。差し込みが不十分な場合、発熱の原因になります。
● オフィスサインの商品は、システムの機能を充分に発揮するために、定期的な点検が必要です。動作確認と機器外観点検を６ヵ月ごとに実施してください。
● 安全にご使用いただくために、定期メンテナンスをお買い上げの販売店または電気工事店の方にご相談ください。メンテナンス内容及び部品の寿命は本文の「ご使用上のご注意」の項に記載しております。
● 機器取扱いに関しては、機器に付属の取扱説明書もご覧になってください。（ご購入になられた時、機器に添付されています）
● 付属の取扱説明書に記載の方法で対処できないトラブルが発生した時は、サービス会社にご相談ください。

⚠注意

■　施工・点検される方へ

禁止

〈取付け〉

- 太陽光線が直接あたらない場所（鉛直面照度1000ルクス以下）に取り付けてください。表示が見えなくなる恐れがあります。

〈ケーブル〉

- 指定以外の場所に入線孔をあけないでください。ケーブルが内部機器と接触して機器が破損したり誤動作のおこる原因となります。
- 信号配線は、電話ケーブル、インターホン等の配線とは同一配管で配線しないでください。電話線に伝送信号のノイズがのり、悪影響を及ぼす可能性があります。
- 配線後あまったケーブルを、内部に収納しないでください。ケーブルより、内部機器にノイズが入り、誤動作のおこる原因となります。

必ず行う

〈取付け〉

- 本商品は次の環境を満たす場所に設置してください。
  - 動作温度範囲：0℃～＋40℃
  - 相対湿度　　：10%～90%RH
  - 使用電圧　　：AC100V±10%　50または60Hz
  - 保守が容易な場所
  - 卓上型機器のコードが通行される人の足にひっかかることがない場所
  - 直射日光があたらない場所
  - 水滴、蒸気、ほこりなどがかからない場所
  - 温泉地等の硫化水素の発生しない場所
  - 周囲に操作上支障となる障害物のない場所
  - 衝撃、振動などの影響を受けない場所

〈その他〉

- 電源プラグが確実に差し込んであることを定期的に確認してください。差し込みが不十分な場合、発熱の原因になります。

おすすめします

〈トイレ緊急呼出表示（警報呼出表示）システム〉

- 伝送ユニット・中継増幅器・トイレ緊急呼出表示（警報呼出表示）システムの表示盤（ブザー付）には停電時の表示用電池は内蔵していません。自家発電装置やUPS（交流無停電電源）のご使用をおすすめします。

有寿命部品の寿命について

本商品は常時運転しており、電気的な特性劣化も含め、定期的なメンテナンスが必要です。又、下記の使用性能部品にも寿命があります。

(1) 性能部品の平均寿命

各部品の寿命は下表の通りです。部品交換の目安としてください。

	性　能　部　品	平均寿命	使用条件
壁掛型表示盤、 表示ユニット、 壁掛型表示盤(呼出表示用)、 ＥＩＡラック型表示盤 (呼出表示用)	スイッチング電源	５年	温度　２０±２℃ 湿度　６５±５％ 点灯率 ５０％にて年間稼動日数２９８日（日曜、祝祭日除く）、１日１２時間使用時。
	ＬＥＤ表示ブロック	５年 （輝度半減）	温度　２０±２℃ 湿度　６５±５％ 点灯率 ５０％にて年間稼動日数２９８日（日曜、祝祭日除く）、１日１２時間使用時。
操作器24 (28)窓、 表示器24 (28)窓、 操作器(個別用) ((24) (28)窓表示器付)	同上	同上	同上
埋込型表示ランプ （スイッチ付)、 埋込型表示ランプ （スイッチなし）	同上	同上	同上

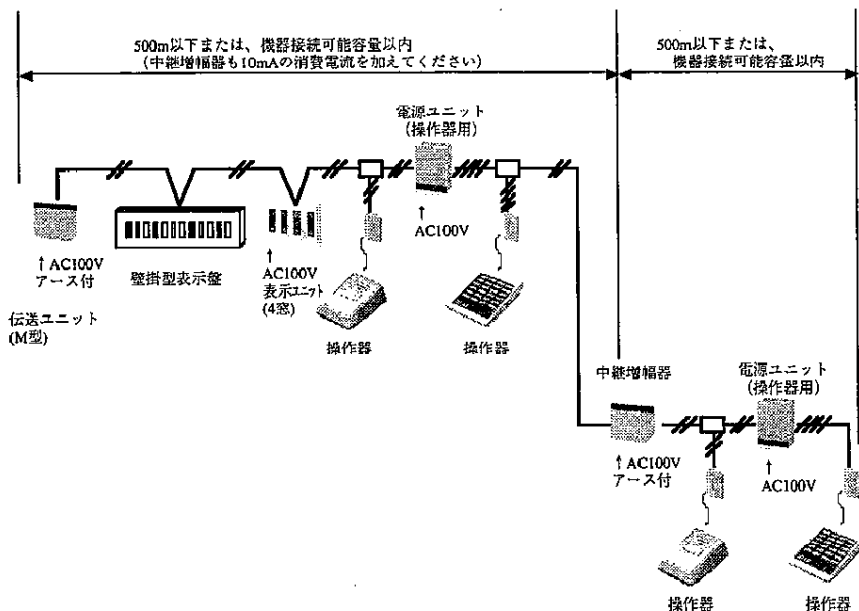
目　次

品番の読み方

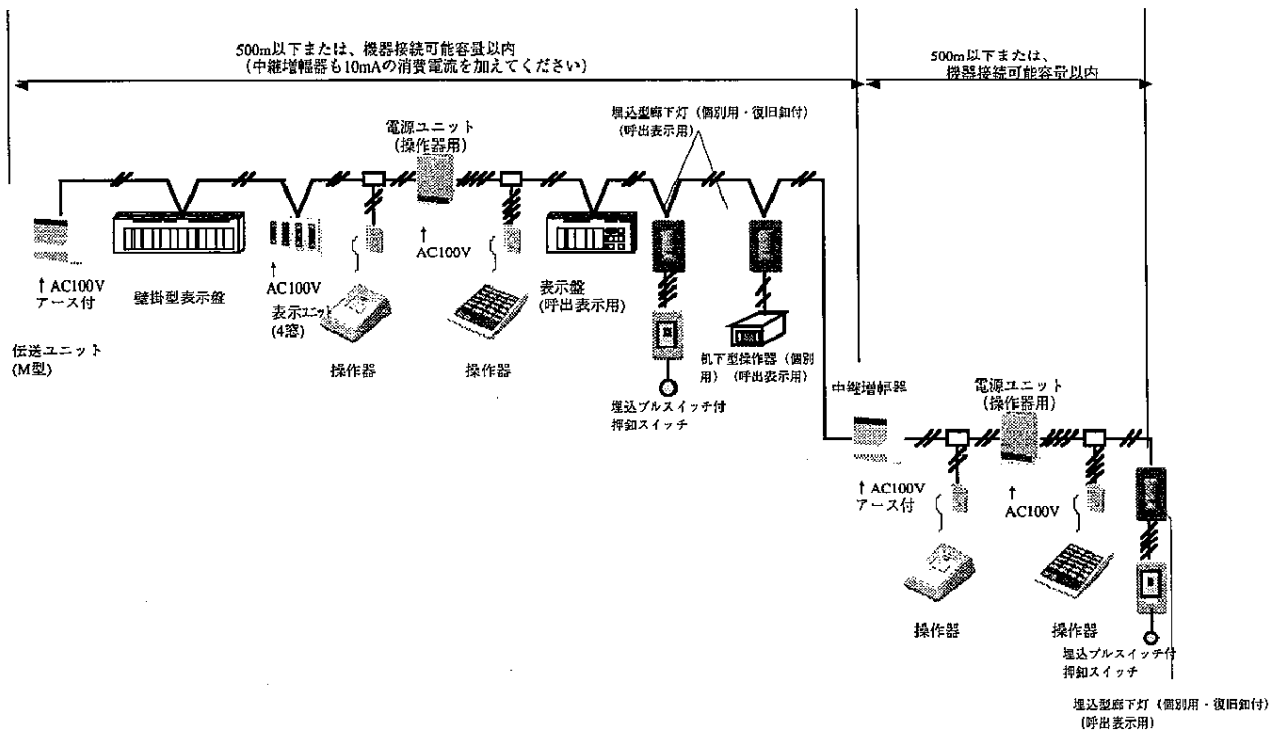
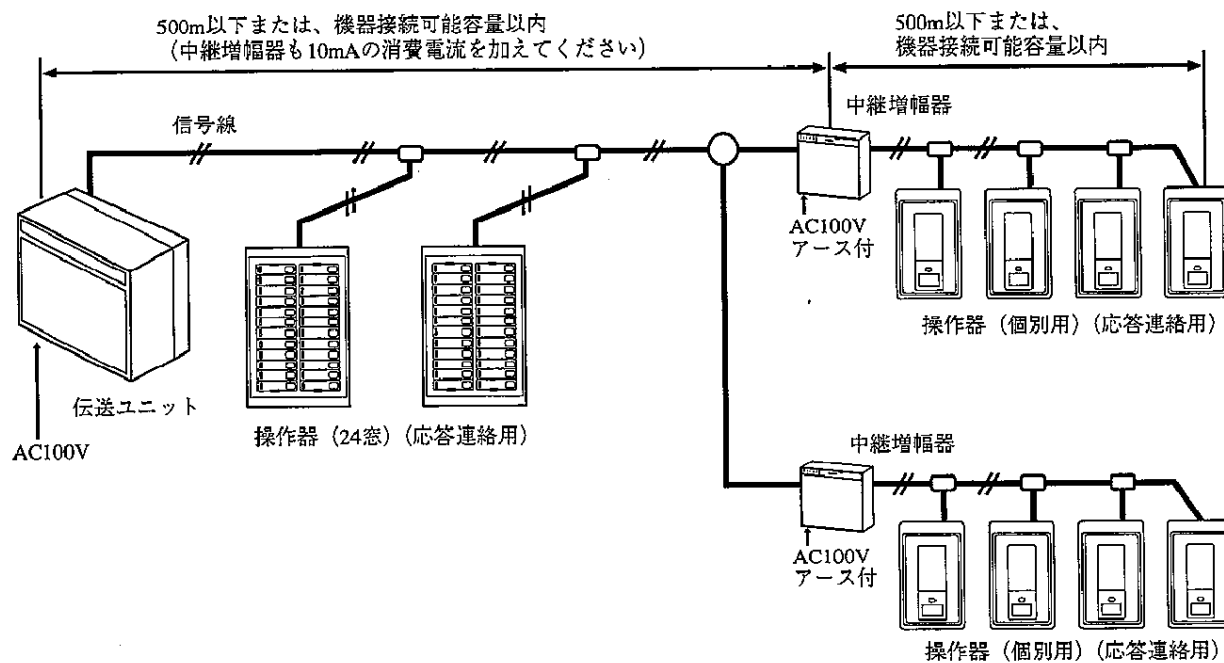
EDN	1桁	1桁	1桁	1桁	2桁
	機種	L/M/S/呼出/他	表示モード/他	構造	窓数　或は 管理No.
	1　表示盤関係 4　操作器関係 5　表示器関係 6　24(28)窓表示器付 　個別用操作器関係 7　伝送ユニット関係 8　端末関係 9　その他	1　Lシリーズ 2　Mシリーズ 3　個別配線式シリーズ 4　呼出表示システム 5　テレコン 6　応答連絡システム 7　診療所連絡 　応答システム 9　共用･分類不可	1　2モード･緑-消 2　2モード･赤-消 4　4モード 6,7 呼出表示 　システム	1　卓上型 2　露出型 3　壁掛型 4　埋込型等 5　EIAラック型 6　埋込型表示ランプ 9　壁掛型(大型用) 0　その他	

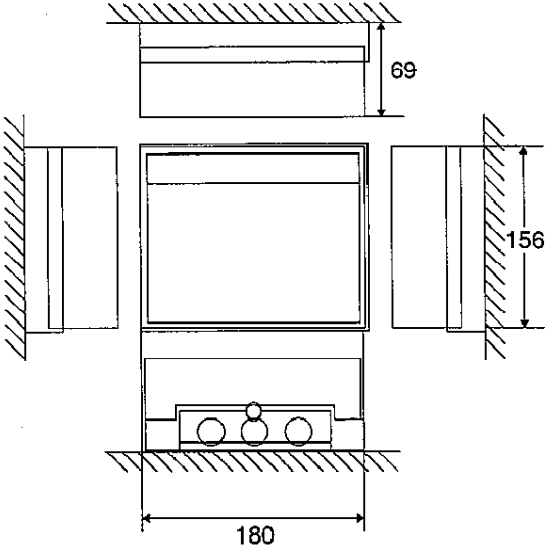
基本仕様

系統図

出退表示単独

出退表示＋呼表示出（トイレ緊急呼出表示、警報呼出表示）

応答連絡システム

500m以下または、機器接続可能容量以内
（中継増幅器も10mAの消費電流を加えてください）
500m以下または、
機器接続可能容量以内
信号線
中継増幅器
AC100V
アース付
伝送ユニット
AC100V
操作器（24窓）（応答連絡用）
操作器（個別用）（応答連絡用）
中継増幅器
AC100V
アース付
操作器（個別用）（応答連絡用）

伝送ユニット（M型）（EDN72201K）

項目		仕様
特徴		4窓単位の表示ユニットの組み合わせにより経済的なシステムが実現できます。 但し名前の位置設定、変更等はできません。
信号線		2線
電源入／切の方法		外部AC100Vの供給時、電源入状態（“電源”表示LED緑点灯） 非供給時、電源切状態（“電源”表示LED消灯）
表示内容	出退表示システム	4モード　：　緑→赤→橙→消 2モード　：　① 緑→消 ② 赤→消
	応答連絡システム	フロントコール　：　子器から親器へコール （親器の窓点滅と鳴動） 呼出　：　親器から子器を呼出 （子器の点灯と鳴動）
	緊急呼出表示システム （警報呼出表示システム）	（使用中表示　：　橙→消） 呼出状態　：　赤点滅 現場確認　：　緑点灯 終了復帰　：　消灯
最大表示数	最大表示人数	120人
	最大呼び出し場所数	10箇所
接続端末の設定チャンネル番号（台数）		1～254　一部除く（計230台）　〔伝送ユニット内の管理アドレス＊〕
	操作器・表示器（個別用） 操作器（個別用）（応答連絡用）	1～120　（計120台）　〔1～120〕
	壁掛型表示盤（呼出表示用） EIAラック型表示盤（呼出表示用）	1　（計1台）　〔121〕
	操作器・表示器（24窓）	129～133　（計5台）　〔129～133〕
	操作器（24窓）（応答連絡用）	1～5　（計5台）　〔129～133〕
	壁掛型表示盤（30窓迄）	137～140　（計4台）　〔137～140〕
	埋込型廊下灯 （個別用・復旧釦付）（呼出表示用）	17～26　（計10台）　〔145～154〕
	操作器（個別用）（24窓表示器付）	161～208　（計48台）　〔161～208〕
	操作器・表示器（28窓）	209～212　（計4台）　〔209～212〕
	操作器（個別用）（28窓表示器付）	213～220　（計8台）　〔213～220〕
	表示ユニット（4窓）	225～254　（計30台）　〔225～254〕
チャンネル・窓・名前番号の呼出、登録方法		名前（名前番号）の位置（窓）設定、変更等はできません。チャンネル毎に決まっています。

＊は設定には関係ありません

項　目			仕　様
定期的な端末のリフレッシュ表示			可能（順番に表示データを自動送信：一順約75秒）
端末再起動時の表示復帰			可能（AC100V電源が供給されている端末は、再起動時に表示データを自動送信）
出退表示の強制全消灯	タイムスイッチ設定による自動の場合		タイムスイッチ設定による自動消灯には対応していません
	手動の場合		何れかの操作器、表示ランプ（スイッチ付）のチャンネル番号を255にし、その1窓目の釦（スイッチ）を押すことで可能
連絡応答機能	操作器ブザー鳴動1回／連続切替		モード設定スイッチ（SW1）の1が、0で1回、1で連続
	呼出モード／フロントコールモード切替		モード設定スイッチ（SW1）の（7,8）が、(1,0）で呼出モード モード設定スイッチ（SW1）の（6,7,8）が、(1,0,0）でフロントコールモード
停電補償時間	伝送ユニット	チャンネル設定内容	不揮発
		端末表示色	1時間（データ記憶のみ。表示用の電力はありません。）
異常検出・通知			
	伝送ユニット異常 信号線異常		信号短絡用LEDを赤点灯させる 表示盤（呼出表示用）上の“信号”ランプを赤点灯させる
	呼出用押釦異常		表示盤（呼出表示用）上の“呼出”ランプを緑点灯させる
	埋込型ブザー停止操作器（一括復旧釦付）（表示呼出用未接続）異常		表示盤（呼出表示用）上の“廊下灯”ランプを橙点灯させる
チャンネル設定の初期化			――――――
テスト表示	表示内容		左上の窓から1～2窓づつ順番に橙点灯させる（一順約50秒）
	方法		モード設定スイッチ（SW1）の8が、1の間テスト表示させる 0に戻すと運用操作が可能。表示データは復帰する。
応用機器	複数の釦による1つの窓の表示		可能（操作器のチャンネル番号を重複させることにより）
	1つの釦による複数の窓の表示		可能（表示盤・表示器のチャンネル番号を重複させることにより）

項　目		仕　様
信号系*	信号方式	時分割多重伝送方式
	出力信号電圧	±24V
	出力信号電流	MAX　500mA
	信号線極性	無
	信号伝送スピード	10kbps
	信号線最遠長距離	500m以内
	信号線総長	1.5km以内
	適合線種	銅製ペア線（シールド付）ϕ1.2、ϕ0.9、1.25mm^2
	信号線短絡保護回路	内蔵

* (1) 信号線は屋内配線のみにしてください。途中で屋外架線、屋側配線、地中埋設配管などをしないでください。

(2) 信号線のシールドは、伝送ユニット側にて1点アースしてください（2点アースはしないでください）。また送り配線等で信号線を継ぎ足す場合、必ずシールド同士も送り配属し、全てのシールド部が伝送ユニット側の1点アースとつながるようにしてください。

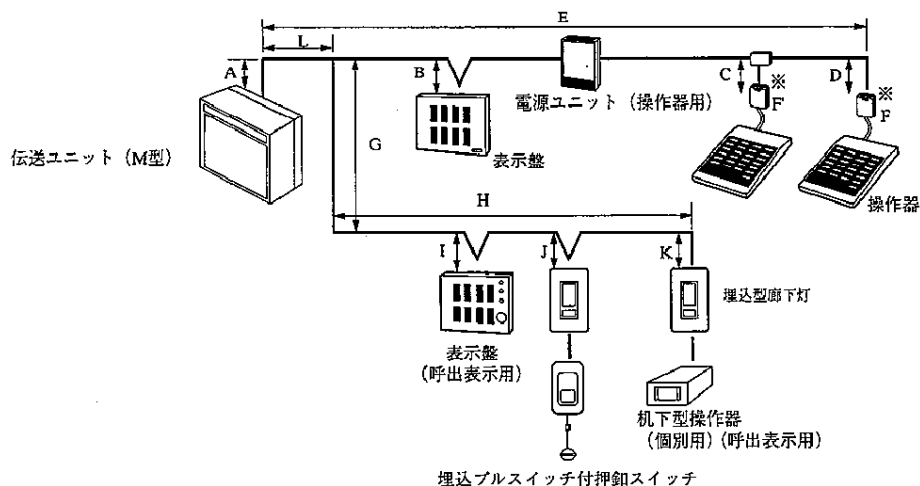
項　目		仕　様
定格	電源	AC100V±10%　50/60Hz　共用
	消費電力	25VA
	外観寸法（mm）	69 156 180
	重量	1.2kg
	外観色	アイボリーグレイ（5Y　7/1　近似色）
設置環境	温湿度条件	0～40℃，10～90%RH
	塵埃	特にひどくないこと
	腐食性ガス	ないこと
	主な設置場所	屋内（ビル内の事務所・ロビー・ホール）

配線設計

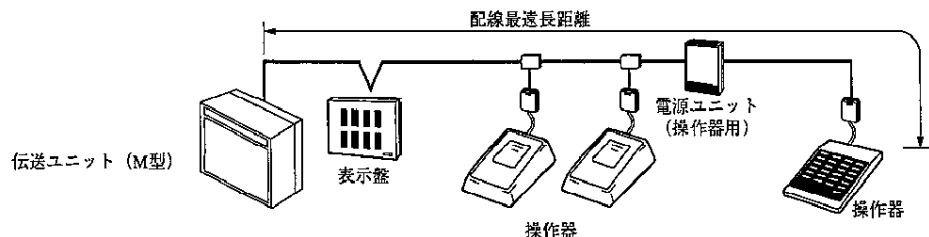
配線距離は、設置する機器台数により変わりますので次の様に計算してください。信号線は必ず銅製ペア線（シールド付）で、かつϕ1.2，ϕ0.9，1.25mm²（素線径ϕ0.18以上）をご使用ください。但しϕ0.9の場合、ϕ1.2の電線の配線距離の各項目数値を1/2として計算してください。

伝送ユニット（M型）（EDN72201K）の配線設計

⚠注意 信号線とAC100V、電話線、放送線、インターホン電線とは必ず別配管で配線してください。

1. 配線総長は1500m以下。配線最遠長は500m以下でご使用ください。

配線総長	A＋(B×2)＋C＋D＋E＋(F＋F')＋G＋H＋(I×2)＋(J×2)＋K	≦1500m
配線最遠長	A＋(B×2)＋D＋E＋F	≦500m
	A＋L＋G＋H＋(I×2)＋(J×2)＋K	≦500m

※ F・F'の附属モジュラーコードおよび卓上型操作器（個人用）のモジュラーコードは長さ1.5mですが、計算上はϕ1.2に換算して50mとしてください。

2. 配線最遠長距離により、伝送ユニット（M型）の機器接続可能容量が変わります。

機器接続可能容量

使用電線＼配線最遠長距離	100m	200m	300m	400m	500m
ϕ1.2（1.25mm²）	500mA	500mA	450mA	370mA	310mA

※使用電源のインピーダンスにより、機器接続可能容量が低下します。また、多重伝送の信号波形のなまりによる誤動作防止のため、最遠長距離は500mが限度です。

※機器接続可能容量の計算時に電源ユニット（操作器用）は含みません。

※例）最遠長距離が350mの時は、機器接続可能容量は370mAで計算してください。

設置台数と配線距離について

設置する機器の消費電流の合計値が下記の機器接続可能容量以内でご使用ください。

機器名	信号消費電流
卓上型操作器（24窓）・卓上型表示器（24窓）、卓上型操作器（28窓）・卓上型表示器（28窓）、卓上型操作器（個別用）（24窓表示器付）、卓上型操作器（個別用）（28窓表示器付）、壁掛型操作器（24窓）・壁掛型表示器（24窓）、30窓以内の壁掛型表示盤、壁掛型表示ユニット・埋込型表示ユニット、壁掛型表示盤（呼出表示用）、EIAラック型表示盤（呼出表示用）	5mA
30窓を超える壁掛型表示盤＝30窓を１台として計算してください。（例　64窓…15mA）	台数×5mA
卓上型操作器（個別用）、埋込型操作器（個別用）、露出型操作器（個別用）、入力端末器（２入力用）、入力端末器（１入力・１出力用）	20mA
埋込型表示ランプ（スイッチ付）、埋込型表示ランプ（スイッチなし）	35mA
中継増幅器	10mA
埋込型廊下灯（個別用・復旧釦付）（呼出表示用）	70mA
壁掛型操作器（24窓）（応答連絡用）、卓上型操作器（24窓）（応答連絡用）	240mA
露出型操作器（個別用）（応答連絡用）、埋込型操作器（個別用）（応答連絡用）	10mA/100mA（連続音）

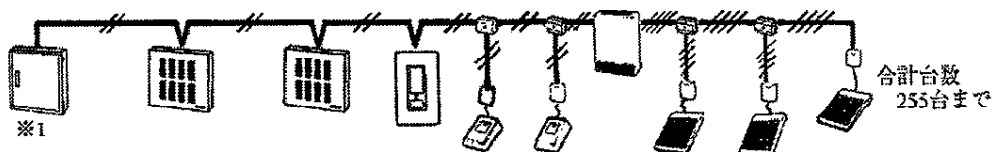
基準：**接続可能容量＞各機器消費電流値の合計**

例）配線最遠長距離が460m、設置機器は卓上型操作器（24窓）が1台、壁掛型表示盤（24窓）が2台、卓上型操作器（個別用）が10台で、使用電線がφ1.2の場合。

5mA（卓上型操作器(24窓)）＋ 5mA×2台（壁掛型表示盤(24窓)）＋ 20mA×10台（卓上型操作器(個別用)）＝215mA…機器接続可能容量310mA以下ですので容量的には問題ありません。

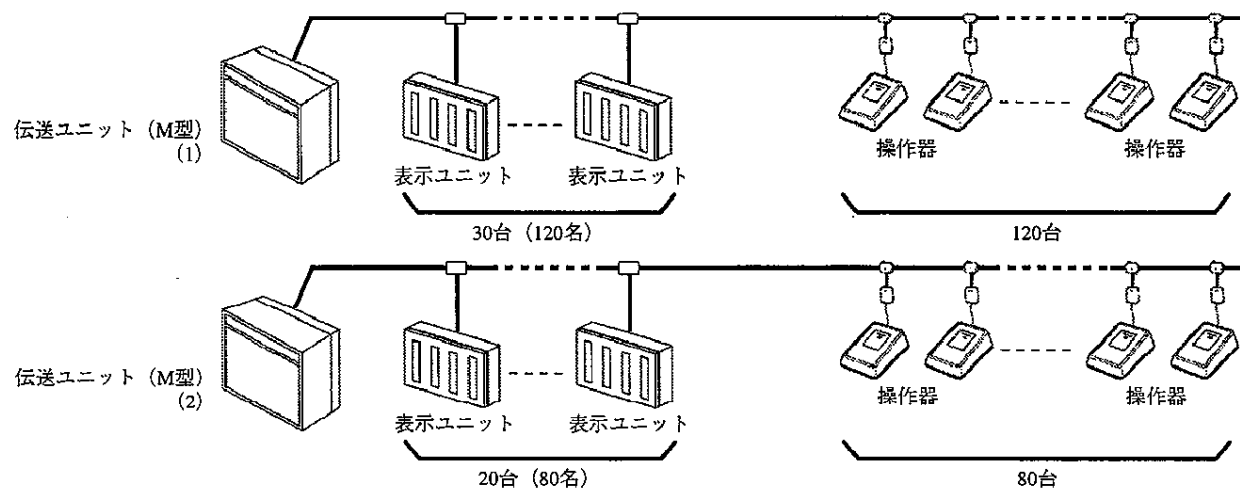
⚠注意　配線最遠長距離が500m以上になる場合または機器接続可能容量以上の接続台数となる場合は、次々ページの中継増幅器の配線設計をご覧ください。

■機器接続台数（電源ユニット（操作器用）や中継増幅器は含みません）→ **合計255台まで**

中継増幅器を設置することにより、チェンネルを割り当てる操作器、表示器などの全ての接続機器（壁掛型表示盤は表示窓数が30窓以下）の合計台数が255台までは接続可能です。

■各機器の同一チャンネルでの使用（同一表示をする場合）は、10台まで使用可能です。卓上型操作器（24窓）、壁掛型操作器（24窓）、卓上型操作器（28窓）を同一チャンネルで使用した場合、2台以上のそれらの操作器の操作釦を0.1秒の範囲で同時操作すると誤動作する可能性がありますが、再度単独で操作すると正しく表示します。

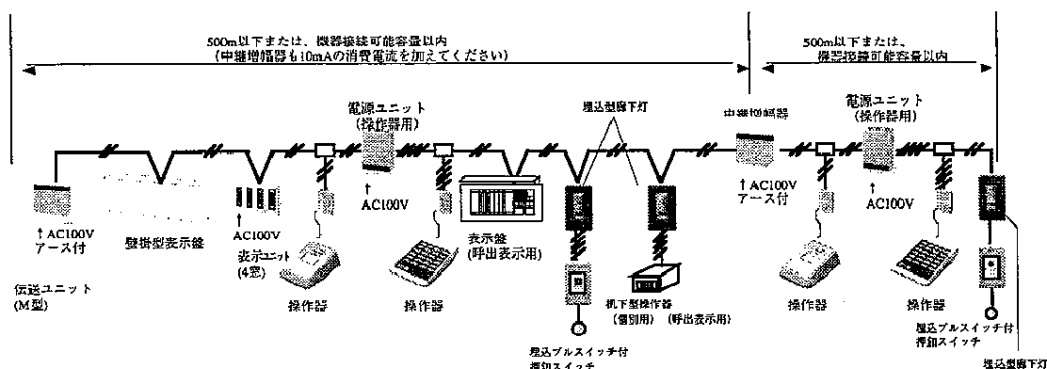
トイレ緊急呼出表示用の機器である表示盤（呼出表示用），埋込型廊下灯（個別用・復旧釦付）（呼出表示用）を同一チャンネルに設定しないでください。誤っておこなうと、機器異常検出ができなくなるなど不具合の原因となります。

■表示窓数→ 表示すべき名前の数は最大120まで

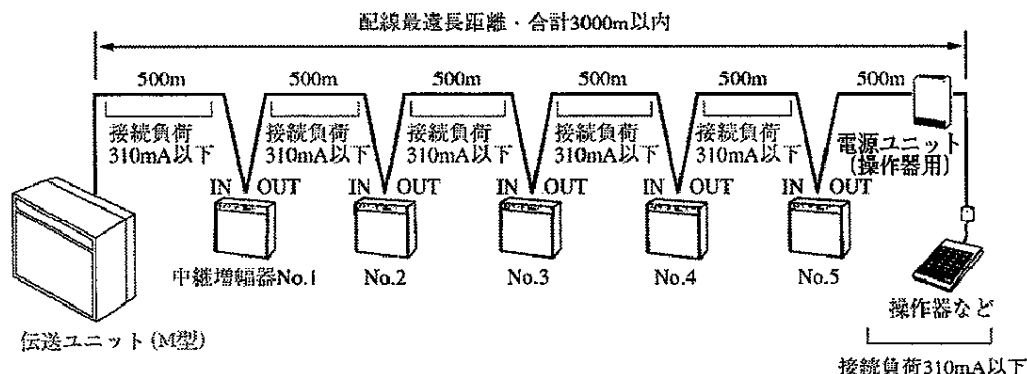
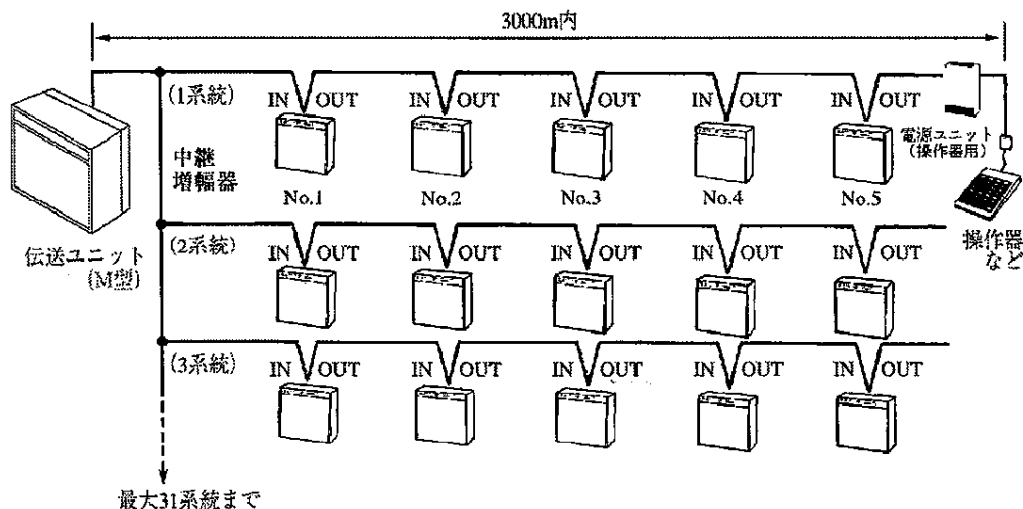
1つのシステムで表示できる名前の数は120までです。例えば表示すべき名前の数が200名の場合は伝送ユニット（M型）は2台必要です。伝送ユニット（M型）が複数となった場合は、信号線は伝送ユニット（M型）ごとに別配線となります。

（図中、中継増幅器等は、省略しています。）

中継増幅器（EDN99202）の配線設計

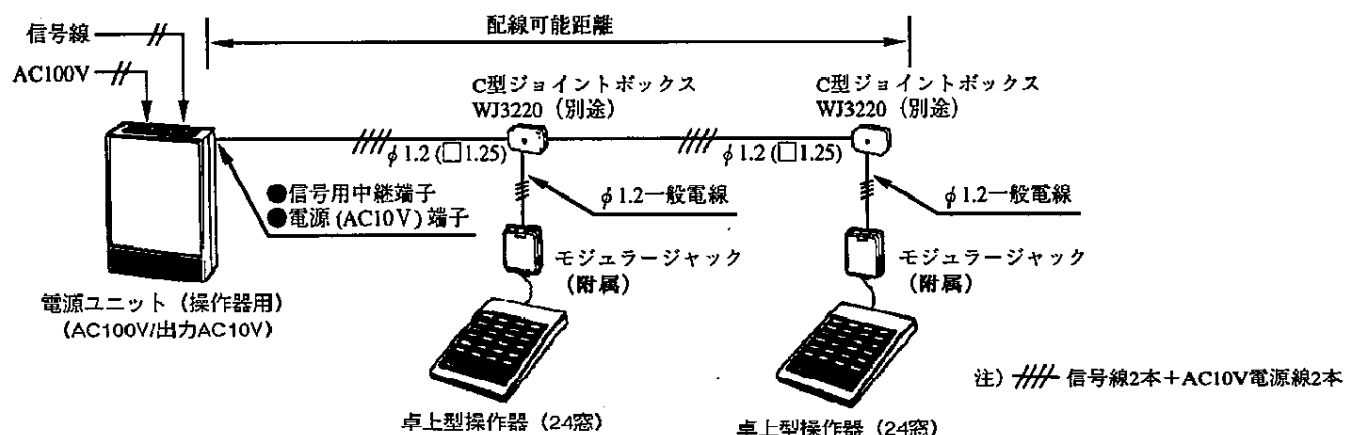
システム規模の拡大・機器の増設、多重伝送信号ラインの延長の際に使います。配線最遠長が500m以上、または伝送ユニット（M型）の接続可能容量を越えた台数を接続する時に追加します。

1. 最遠長距離が500mを越える場合、または機器の消費電流値の合計が伝送ユニット（M型）の接続可能容量を越える場合は、必ず中継増幅器を追加してください。

●中継増幅器以降は、最遠長距離が500m以下、または伝送ユニット（M型）の機器接続可能容量以内で接続できます。

2. 中継増幅器を直列に接続すれば、最遠長距離が3000mまで可能です。

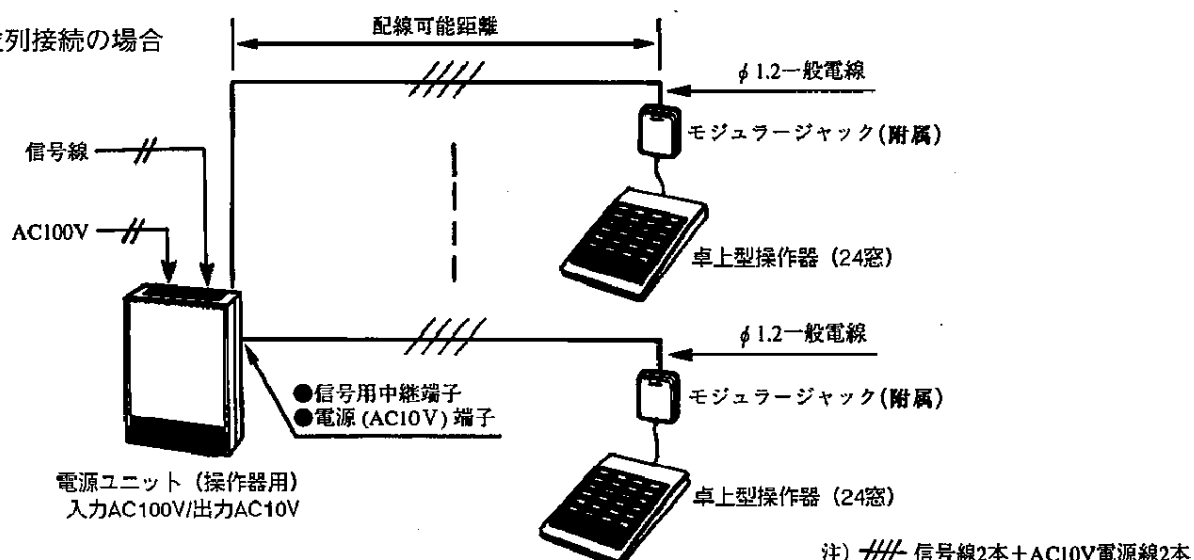
●中継増幅器は直列接続で5台まで接続可能。（各増幅器に500m以内で310mAまでの機器が接続できます。）

●中継増幅器を並列接続すれば、中継器は31×5＝155台まで使用できます。

電源ユニット（操作器用）（EDN99201）の配線設計

卓上型操作器(24窓)(EDN494124)、卓上型操作器(28窓)(EDN494128)、卓上型表示器(24窓)(EDN594124)、卓上型表示器(28窓)(EDN594128)、卓上型表示器(個別用)(24窓表示器付)(EDN694124)、卓上型表示器(個別用)(28窓表示器付)(EDN694128)、壁掛型集中操作器(24窓)(EDN494324)、壁掛型集中表示器(24窓)(EDN594324)の電源として使用します。
卓上型操作器・表示器、壁掛型操作器・表示器の設置台数により配線可能距離が変わります。

●直列接続の場合

配線可能距離（m）　対象：上記全機種。操作器（24窓）・表示器（24窓）・操作器（24窓表示器付）
操作器（28窓）・表示器（28窓）・操作器（28窓表示器付）

操作器台数 / 使用電線	1台	2台	3台	4台
φ1.2	140m	65m	40m	25m

最大接続台数は合計4台

●並列接続の場合

1系統当りの配線可能距離（m）　対象：上記全機種。操作器（24窓）・表示器（24窓）・操作器（24窓表示器付）
操作器（28窓）・表示器（28窓）・操作器（28窓表示器付）

操作器台数 / 使用電線	1台	2台	3台	4台
φ1.2	140m	120m	110m	100m

最大接続台数は合計4台

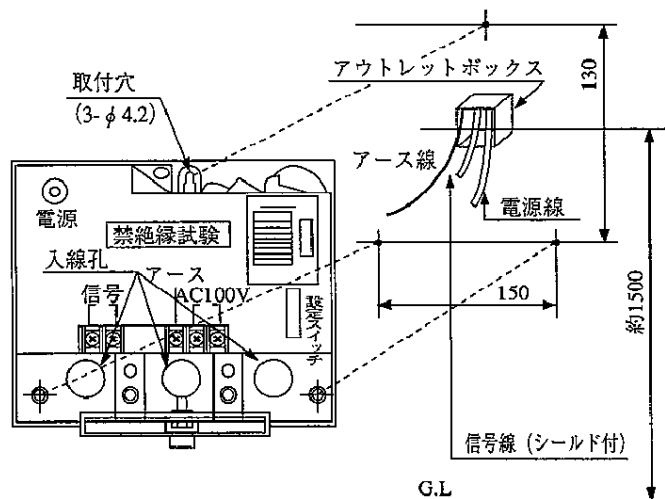
⚠注意　上記基準に満たない場合は、操作器用電源ボックスを必ず追加してください。

接続可能な機器の定格一覧

品　番	品　名	定格電圧	電源容量	信号消費電流
EDN72201K	伝送ユニット（M型）	AC100V	25VA	ー
EDN99202	中継増幅器	AC100V	22VA	10mA
EDN99201	電源ユニット（操作器用）	AC100V	25VA	ー
EDN494124	卓上型操作器（24窓）	AC10V	5VA	5mA
EDN594124	卓上型表示器（24窓）	AC10V	5VA	5mA
EDN694124	卓上型操作器（個別用）（24窓表示器付）	AC10V	5VA	5mA
EDN494128	卓上型操作器（28窓）	AC10V	5.5VA	5mA
EDN594128	卓上型表示器（28窓）	AC10V	5.5VA	5mA
EDN694128	卓上型操作器（個別用）（28窓表示器付）	AC10V	5.5VA	5mA
EDN494324	壁掛型操作器（24窓）	AC10V	5VA	5mA
EDN594324	壁掛型表示器（24窓）	AC10V	5VA	5mA
EDN494401	埋込型操作器（個別用）	ー	ー	20mA
EDN494101	卓上型操作器（個別用）	ー	ー	20mA
EDN494201	露出型操作器（個別用）	ー	ー	20mA
EDN494601	埋込型表示ランプ（スイッチ付）	ー	ー	35mA
EDN594601	埋込型表示ランプ（スイッチなし）	ー	ー	35mA
EDN812401	入力端末器（1入力・1出力用）	ー	ー	20mA
EDN812402	入力端末器（2入力用）	ー	ー	20mA
EDN111302	壁掛型表示盤（2窓）（2モード・緑）	AC100V	16VA	5mA
EDN111303	壁掛型表示盤（3窓）（2モード・緑）	AC100V	18VA	5mA
EDN111304	壁掛型表示盤（4窓）（2モード・緑）	AC100V	23VA	5mA
EDN111306	壁掛型表示盤（6窓）（2モード・緑）	AC100V	30VA	5mA
EDN111308	壁掛型表示盤（8窓）（2モード・緑）	AC100V	36VA	5mA
EDN111310	壁掛型表示盤（10窓）（2モード・緑）	AC100V	44VA	5mA
EDN111312	壁掛型表示盤（12窓）（2モード・緑）	AC100V	50VA	5mA
EDN111316	壁掛型表示盤（16窓）（2モード・緑）	AC100V	63VA	5mA
EDN111318	壁掛型表示盤（18窓）（2モード・緑）	AC100V	68VA	5mA
EDN111320	壁掛型表示盤（20窓）（2モード・緑）	AC100V	81VA	5mA
EDN111324	壁掛型表示盤（24窓）（2モード・緑）	AC100V	94VA	5mA
EDN111332	壁掛型表示盤（32窓）（2モード・緑）	AC100V	120VA	10mA
EDN111340	壁掛型表示盤（40窓）（2モード・緑）	AC100V	146VA	10mA
EDN111348	壁掛型表示盤（48窓）（2モード・緑）	AC100V	186VA	10mA
EDN111364	壁掛型表示盤（64窓）（2モード・緑）	AC100V	240VA	15mA
EDN112302	壁掛型表示盤（2窓）（2モード・赤）	AC100V	14VA	5mA
EDN112303	壁掛型表示盤（3窓）（2モード・赤）	AC100V	18VA	5mA
EDN112304	壁掛型表示盤（4窓）（2モード・赤）	AC100V	20VA	5mA
EDN112306	壁掛型表示盤（6窓）（2モード・赤）	AC100V	28VA	5mA
EDN112308	壁掛型表示盤（8窓）（2モード・赤）	AC100V	34VA	5mA
EDN112310	壁掛型表示盤（10窓）（2モード・赤）	AC100V	42VA	5mA
EDN112312	壁掛型表示盤（12窓）（2モード・赤）	AC100V	48VA	5mA
EDN112316	壁掛型表示盤（16窓）（2モード・赤）	AC100V	59VA	5mA
EDN112318	壁掛型表示盤（18窓）（2モード・赤）	AC100V	66VA	5mA
EDN112320	壁掛型表示盤（20窓）（2モード・赤）	AC100V	77VA	5mA
EDN112324	壁掛型表示盤（24窓）（2モード・赤）	AC100V	90VA	5mA
EDN112332	壁掛型表示盤（32窓）（2モード・赤）	AC100V	114VA	10mA
EDN112340	壁掛型表示盤（40窓）（2モード・赤）	AC100V	140VA	10mA
EDN112348	壁掛型表示盤（48窓）（2モード・赤）	AC100V	175VA	10mA

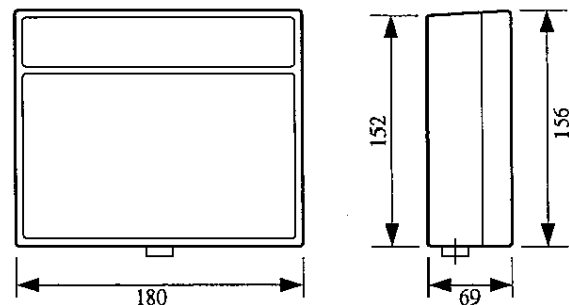
品　　番	品　　　名	定格電圧	電源容量	信号消費電流
EDN112364	壁掛型表示盤（64窓）（2モード・赤）	AC100V	230VA	15mA
EDN114302	壁掛型表示盤（2窓）（4モード）	AC100V	18VA	5mA
EDN114303	壁掛型表示盤（3窓）（4モード）	AC100V	23VA	5mA
EDN114304	壁掛型表示盤（4窓）（4モード）	AC100V	27VA	5mA
EDN114306	壁掛型表示盤（6窓）（4モード）	AC100V	36VA	5mA
EDN114308	壁掛型表示盤（8窓）（4モード）	AC100V	46VA	5mA
EDN114310	壁掛型表示盤（10窓）（4モード）	AC100V	55VA	5mA
EDN114312	壁掛型表示盤（12窓）（4モード）	AC100V	63VA	5mA
EDN114316	壁掛型表示盤（16窓）（4モード）	AC100V	81VA	5mA
EDN114318	壁掛型表示盤（18窓）（4モード）	AC100V	94VA	5mA
EDN114320	壁掛型表示盤（20窓）（4モード）	AC100V	103VA	5mA
EDN114324	壁掛型表示盤（24窓）（4モード）	AC100V	120VA	5mA
EDN114332	壁掛型表示盤（32窓）（4モード）	AC100V	155VA	10mA
EDN114340	壁掛型表示盤（40窓）（4モード）	AC100V	190VA	10mA
EDN114348	壁掛型表示盤（48窓）（4モード）	AC100V	230VA	10mA
EDN114364	壁掛型表示盤（64窓）（4モード）	AC100V	306VA	15mA
EDN114908	壁掛型表示盤（8窓・大型用）（4モード）	AC100V	55VA	5mA
EDN114912	壁掛型表示盤（12窓・大型用）（4モード）	AC100V	80VA	5mA
EDN114916	壁掛型表示盤（16窓・大型用）（4モード）	AC100V	110VA	5mA
EDN114924	壁掛型表示盤（24窓・大型用）（4モード）	AC100V	160VA	5mA
EDN121304	壁掛型表示ユニット（4窓）（2モード・緑）	AC100V	25VA	5mA
EDN121404	埋込型表示ユニット（4窓）（2モード・緑）	AC100V	25VA	5mA
EDN122304	壁掛型表示ユニット（4窓）（2モード・赤）	AC100V	25VA	5mA
EDN122404	埋込型表示ユニット（4窓）（2モード・赤）	AC100V	25VA	5mA
EDN124304	壁掛型表示ユニット（4窓）（4モード）	AC100V	25VA	5mA
EDN124404	埋込型表示ユニット（4窓）（4モード）	AC100V	25VA	5mA
EDN447401K	埋込型廊下灯（個別用・復旧釦付）（呼出表示用）	—	—	70mA
WS65772	埋込プルスイッチ付押釦スイッチ	DC30V	3VA	—
EDN446202	机下型操作器（個別用）（呼出表示用）	—	—	—
EDN446403	埋込型操作器（個別用）（呼出表示用）	—	—	—
EDN446404	埋込型ブザー停止操作器（一括復旧釦付）（呼出表示用）	—	—	—
EDN146301	壁掛型表示盤（1窓・ブザー付）（呼出表示用）	AC100V	15VA	5mA
EDN146303	壁掛型表示盤（3窓・ブザー付）（呼出表示用）	AC100V	24VA	5mA
EDN146305	壁掛型表示盤（5窓・ブザー付）（呼出表示用）	AC100V	31VA	5mA
EDN146310	壁掛型表示盤（10窓・ブザー付）（呼出表示用）	AC100V	56VA	5mA
EDN147501	EIAラック型表示盤（1窓・ブザー付）（呼出表示用）	AC100V	14VA	5mA
EDN147503	EIAラック型表示盤（3窓・ブザー付）（呼出表示用）	AC100V	16VA	5mA
EDN147505	EIAラック型表示盤（5窓・ブザー付）（呼出表示用）	AC100V	18VA	5mA
EDN146505	EIAラック型表示盤（5窓・増設用）（呼出表示用）	—	22VA	—
EDN462324	壁掛型操作器（24窓）（応答連絡用）	—	—	240mA
EDN462124	卓上型操作器（24窓）（応答連絡用）	—	—	240mA
EDN462201	露出型操作器（個別用）（応答連絡用）	—	—	10mA/100mA（連続音）
EDN462401	埋込型操作器（個別用）（応答連絡用）	—	—	10mA/100mA（連続音）

伝送ユニット（M型）（EDN72201K）の取付工事

■取付方法

●アウトレットボックス内は、電源線と信号線分離用のセパレータを取り付けるか、電源線と信号線専用のアウトレットボックスを設置してください。（内線規定400-9，410-9，415-7）

●容易に人が触れないような場所に設置してください。

■仕様

ケース	ABS樹脂・アイボリーグレイ色
定格電圧	AC100V
定格周波数	50/60Hz共用
消費電力	25VA（最大負荷接続時）
接続可能容量	500mA
型　式	壁取付
重　量	1.2kg

■システム仕様

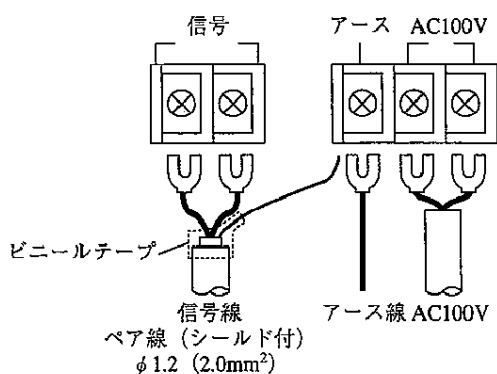
伝送方式	割込式サイクリック 時分割多重伝送方式
配線方式	2線無極性・ペア線（シールド付）
伝送速度	約15mS/端末
信号電圧	±24V
配線長	最遠配線長500m・配線総長1500m φ1.2又は1.25mm²以上の電線使用の場合

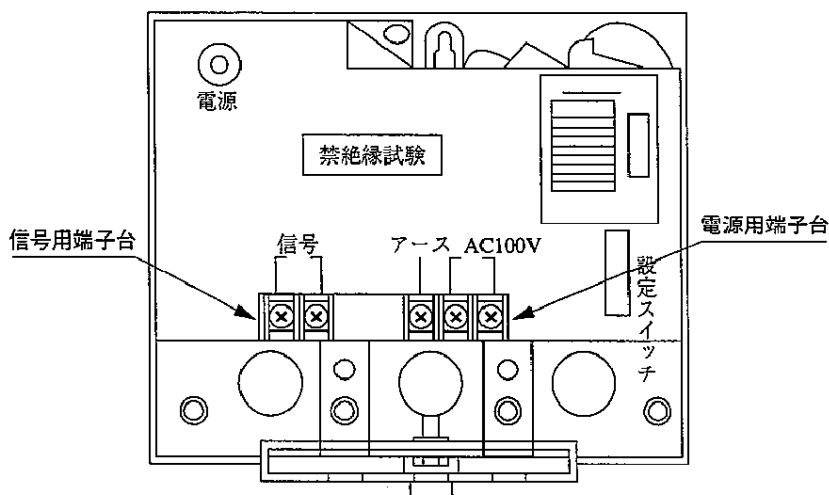
■寸法図

伝送ユニット（M型）（EDN72201K）の結線工事

●アウトレットボックス内は、電源線と信号線分離用のセパレータを取り付けるか、電源線と信号線専用のアウトレットボックスを設置してください。（内線規定400-8）

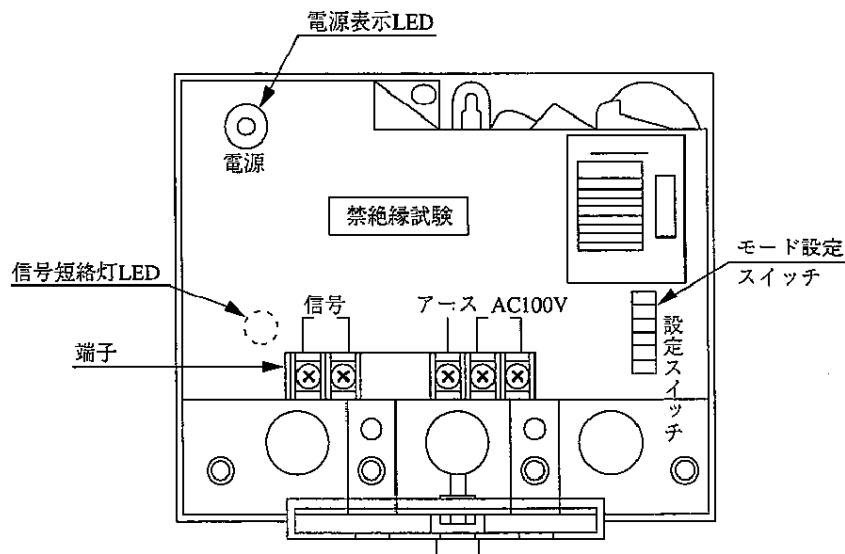
●伝送ユニット（M型）表示型（呼出表示用）、中継増幅器への電源線は専用ブレーカ回路からお取りください。電灯回路やコンセント回路と共用に取っていますと、ブレーカを切ったときに接続機器が働かないトラブルの原因となります。

■端子への接続

●信号線におけるシールド線のシールドアースは、伝送ユニットのみでアースを落とすことになっています（単独アース）ので、システム構成機器は、シールド線が函体に接触しないよう、ビニールテープで絶縁処理をしてください。
●信号線におけるシールド線の末端は、切りっぱなしにすると線間でショートしますので、確実に処理をしてください。
●シールド付信号線の接続は、ジョイントボックスまたは圧着仕上げ後、テーピング処理をしてください。
●伝送ユニットは、所定のアース端子より第３種設置工事を施してください。
●信号線のシールド線は、各端末器ではアースに落とさないでください。（システムが誤動作する場合があります）伝送ユニットで一括してアースしてください。

■端子の位置

※信号線出力は無極性です。

⚠注意 信号端子に誤って電源線（AC100V等）を接続されますと、伝送ユニット（M型）（EDN72201K）がこわれますので充分注意してください。

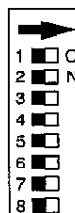
伝送ユニット（M型）（EDN72201K）の取扱方法

■各部の名称

■モードの設定

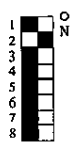
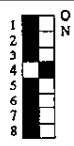
呼出あるいはフロントコールのモードに設定時、呼出し用ブザーを1回だけ(スイッチOFF)か連続(スイッチON)で鳴らすかを選択する。

いずれか1つをONにしてください。
そうするとそのモードに設定されます。

設定スイッチ

	機　能 (設定スイッチON状態)
1	ブザー連続
2	出退2モード（赤ー消）
3	
4	出退4モード（緑ー赤ー橙ー消）
5	出退2モード（緑ー消）
6	フロントコールモード
7	呼出モード
8	テストモード

(1)　出退2モード（緑ー消）：スイッチ5のみON

操作器（個別用）（EDN494401、EDN494101、EDN494201）と、操作器（24窓）（EDN494124、EDN494324）と、操作器（28窓）（EDN494128）と、表示盤（2モード・緑）（EDN1113□□）と、表示ユニット（4窓）（2モード・緑）（EDN121304、EDN121404）等を組み合わせて使用します。表示部が緑→消と表示します。

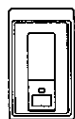
(2)　出退2モード（赤ー消）：スイッチ2のみON

操作器（個別用）（EDN494401、EDN494101、EDN494201）と、操作器（24窓）（EDN494124、EDN494324）と、操作器（28窓）（EDN494128）と、表示盤（2モード・赤）（EDN1123□□）と、表示ユニット（4窓）（2モード・赤）（EDN122304、EDN122404）等を組み合わせて使用します。表示部が赤→消と表示します。

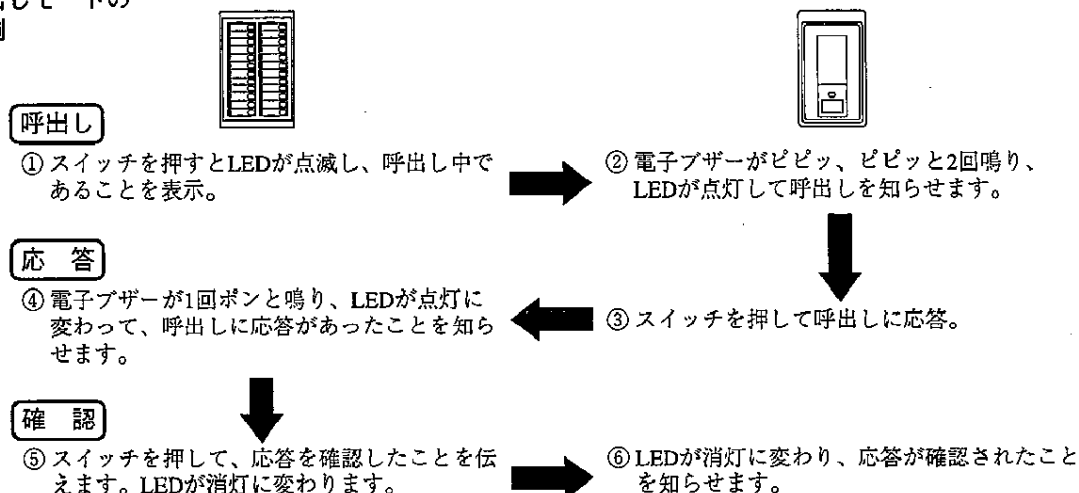
(3)　出退4モード（緑ー赤ー橙ー消）：スイッチ4のみON

操作器（個別用）（EDN494401、EDN494101、EDN494201）と、操作器（24窓）（EDN494124、EDN494324）と、操作器（28窓）（EDN494128）と、表示盤（4モード）（EDN1143□□）と、表示ユニット（4窓）（4モード）（EDN124304、EDN124404）等を組み合わせて使用します。表示部が緑→赤→橙→消と表示します。

伝送ユニットの設定と表示色・表示順
操作器の押釦を押す毎に、その操作器と同じ“名前番号”の表示部が以下の表示をくり返します。

伝送ユニット（M型） EDN72201Kの設定	4モード表示器	2モード表示器	
		緑	赤
出退2モード（緑ー消）	緑ー消	緑ー消	消ー消
出退2モード（赤ー消）	赤ー消	消ー消	赤ー消
出退4モード（緑ー赤ー橙ー消）	緑ー赤ー橙ー消	緑ー消ー緑ー消	消ー赤ー赤ー消

(4) フロントコールモード：スイッチ6
操作器（個別用）（応答連絡用）（EDN462201、EDN462401）と操作器（24窓）（応答連絡用）（EDN462324、EDN462124）とを組み合わせて部屋（操作器（個別用）（応答連絡用））からフロント（操作器（24窓）（応答連絡用））を呼び出すことができます。表示は赤→消と表示します。

(5) 呼出しモード：スイッチ7

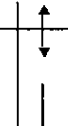
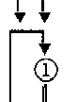
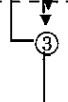
操作器（個別用）（応答連絡用）（EDN462201、EDN462401）と操作器（24窓）（応答連絡用）（EDN462324、EDN462124）とを組み合わせて操作器（24窓）（応答連絡用）側の人から操作器（個別用）（応答連絡用）側の人を呼び出すことができます。表示部は赤→消と表示します。

(6) テストモード：スイッチ8をON

配線工事や機器動作を確認する時に用います。全LEDの順次点灯、ブザー鳴動の試験を行うことができます。点灯順序は、チャンネルNoの小さい機器から。

※全消灯操作

操作器（個別用）（EDN494401、EDN494101、EDN494201等）のチャンネルを255にセットし、操作することによって、点灯状態にある操作器（個別用）（EDN494401、EDN494101、EDN494201等）と操作器（24窓）（EDN494124、EDN494324）と操作器（28窓）（EDN494128）と表示盤（EDN11＊3＊＊）と表示ユニット（4窓）（EDN12＊＊04）等が全消灯します。

■呼出表示

呼出表示にはトイレ緊急呼出表示と警報呼出表示があります。

モード設定スイッチを以下のいずれかのモードにセットしてください。

(1) 出退4モード（緑ー赤ー橙ー消）

(2) 出退2モード（緑ー消）

(3) 出退2モード（赤ー消）

(4) フロントコールモード

(5) 呼出しモード

操作手順と動作内容を次に示します。

トイレ緊急呼出表示と警報呼出表示のモード設定は窓単位になっており、埋込型廊下灯（個別用・復旧釦付）（呼出表示用）（EDN447401K）のディップスイッチにておこないます。詳細はP.42をご覧ください。

操作手順と動作内容　表中の「埋込型廊下灯（個別用・復旧釦付）（呼出表示用）の"呼出入力"端子間」の開／閉は、呼出用押釦でおこないます。呼出用押釦とは、埋込プルスイッチ付押釦スイッチ、机下型操作器（個別用）（呼出表示用）、埋込型操作器（個別用）（呼出表示用）のことです。

<table>
<tr><th rowspan="2">用途</th><th colspan="2" rowspan="2">操作手順</th><th colspan="2">表示盤（呼出表示用）</th><th colspan="3">埋込型廊下灯（個別用・復旧釦付）（呼出表示用）</th></tr>
<tr><th>表示</th><th>ブザー</th><th>表示</th><th>"外部出力"</th><th>"LED出力"の電圧</th></tr>
<tr><td rowspan="6">警報呼出表示</td><td>常時</td><td></td><td>消灯</td><td rowspan="2">止</td><td>消灯</td><td rowspan="2">開</td><td rowspan="2">なし</td></tr>
<tr><td>使用中表示</td><td>埋込型廊下灯（個別用・復旧釦付）（呼出表示用）の操作スイッチを押す《使用中表示》</td><td>橙点灯</td><td>橙点灯</td></tr>
<tr><td rowspan="4">呼出表示</td><td>① 上記の"呼出入力"端子間を開く《呼出表示》</td><td>赤点滅</td><td>鳴</td><td rowspan="2">赤点滅</td><td rowspan="2">閉</td><td rowspan="2">あり</td></tr>
<tr><td>② 表示盤（呼出表示用）の"ブザー停止"釦を押す《確認中表示》</td><td>赤点灯</td><td rowspan="2">止</td></tr>
<tr><td>③ 埋込型廊下灯（個別用・復旧釦付）（呼出表示用）の操作スイッチを押す《確認表示》</td><td>緑点灯</td><td>緑点灯</td><td>開</td><td>なし</td></tr>
<tr><td>④ 表示盤（呼出表示用）の"復旧"釦を押す
＝"常時"《一斉復旧》</td><td colspan="5">"常時"と同じ</td></tr>
<tr><td>トイレ緊急呼出表示</td><td colspan="7">上記①～④と同じ</td></tr>
</table>

説明）・動作は→の方向へ遷移することができる。

・"使用中表示"動作中に再度"使用中表示"の操作が入れば、"常時"へ戻る。

・①は、"常時"、"使用中表示"のどちらの状態からでも優先的に割り込み動作をする。

・②、③動作時に①の操作が入れば、①以降の動作をする。

・①動作時に③を操作すると、③以降を動作する。

・③、④は埋込型廊下灯（個別用・復旧釦付）（呼出表示用）の"呼出入力"端子間が閉条件が必要

■伝送ユニット（M型）ご注意

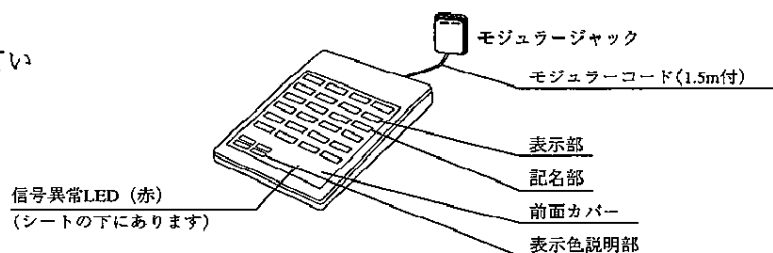
(1) 電源投入直後やモード設定スイッチを切り替えた時は約1分間操作スイッチを受け付けないことがあります。

(2) 信号短絡灯が点灯（赤）した時は、信号線が短絡しているので配線状態を確認してください。

(3) モード設定スイッチを重複して設定するとスイッチ番号の高い方のモードが選択されます。（たとえば8と5であれば8、7と4であれば7のモードが選択されます。）

(4) モード設定スイッチの1のスイッチ（ブザー鳴動1回／連続切替え）は、フロントコールモードか呼出モードの場合にのみ有効となります。

卓上型操作器（24窓）（EDN494124）の取扱方法

■各部の名称

●各窓に表示部と操作スイッチがついています。

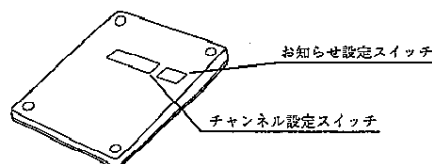
■記名部の記入方法

●シャープペンシルまたはボールペンの先などで前面カバーをあけてください。

●記名シートを取り出して該当部分に、ボールペンなどで記入します。

●前面カバーは手で曲げながら引掛部分に差し込んで固定します。

■チャンネル（機器）番号・お知らせ設定の合せ方（P.56“調整手順書”も参照してください）

●本体底面のチャンネルスイッチで合わせます。

●チャンネル（機器）設定スイッチ（129～133チャンネル設定可能）
1側に設定されている番号の和がチャンネル番号になります。

●お知らせ設定スイッチ

A＝1側：表示変化時に表示部が5秒間点滅します。
　　0側：点滅なし。
B＝1側：表示変化時に電子音が0.5秒間鳴動します。
　　0側：鳴動なし。

■操作方法

●操作釦を押すたびに、表示部の色が、緑→赤→橙→消灯をくり返します。（表示順序は点灯モードにより異なります。詳しくは本書P.16の“伝送ユニット（M型）（EDN72201K）の取扱方法”をご参照ください。）

●この表示部と連動して、各表示器、表示盤の同じ名前部分が点灯します。

■ご注意

●表示窓数が24名以上必要な場合は2台（48名分）、3台（72名分）と並べて設置、使用できます。又、28名の場合は、EDN494128をご使用下さい。

●チャンネル（機器）番号の設定は、本機器及び伝送ユニット（M型）（EDN72201K）を必ず非通電状態にしてから行ってください。通電状態でチャンネル（機器）番号を設定しますと、誤動作の原因となります。

●瞬時停電時には本機器の表示が一瞬消えます（0.5秒程度）が、異常ではありません。伝送ユニット（M型）よりデータを再送しますので元の状態に自動復帰します。（お知らせ機能をご使用の場合は表示復帰時に表示部が5秒間点滅し、電子音が0.5秒鳴動します。）

卓上型表示器（24窓）（EDN594124）の取扱方法

■各部の名称

●各窓に表示部がついています。

■記名部の記入方法

●シャープペンシルまたはボールペンの先などで前面カバーをあけてください。

●記名シートを取り出して該当部分に、ボールペンなどで記入します。

●前面カバーは手で曲げながら引掛部分に差し込んで固定します。

■チャンネル（機器）番号・お知らせ設定の合せ方（P.56“調整手順書”も参照してください）

●本体底面のチャンネルスイッチで合わせます。

●チャンネル（機器）設定スイッチ（129～133チャンネル設定可能）
1側に設定されている番号の和がチャンネル番号になります。

●お知らせ設定スイッチ

A＝1側：表示変化時に表示部が5秒間点滅します。
0側：点滅なし。
B＝1側：表示変化時に電子音が0.5秒間鳴動します。
0側：鳴動なし。

■ご注意

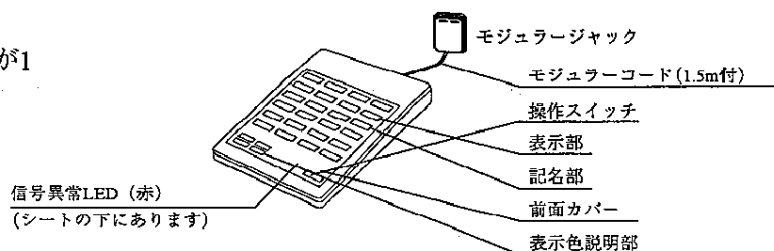
●表示窓数が24名以上必要な場合は2台（48名分）、3台（72名分）と並べて設置、使用できます。又、28名の場合は、EDN494128をご使用下さい。

●チャンネル（機器）番号の設定は、本機器及び伝送ユニット（M型）（EDN72201K）を必ず非通電状態にしてから行ってください。通電状態でチャンネル（機器）番号を設定しますと、誤動作の原因となります。

●瞬時停電時には本機器の表示が一瞬消えます（0.5秒程度）が、異常ではありません。伝送ユニット（M型）よりデータを再送しますので元の状態に自動復帰します。（お知らせ機能をご使用の場合は表示復帰時に表示部が5秒間点滅し、電子音が0.5秒鳴動します。）

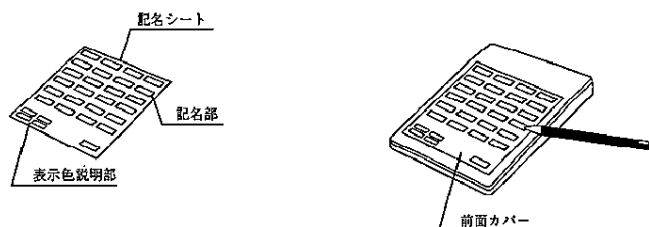
卓上型操作器（個別用）（24窓表示器付）（EDN694124）の取扱方法

■各部の名称

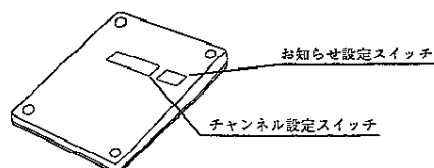
●卓上型表示器に個人用操作スイッチが1個ついています。

モジュラージャック
モジュラーコード（1.5m付）
操作スイッチ
表示部
記名部
前面カバー
表示色説明部
信号異常LED（赤）
（シートの下にあります）

■記名部の記入方法

●シャープペンシルまたは、ボールペンの先などで前面カバーをあけてください。

●記名シートを取り出して該当部分に、ボールペンなどで記入します。

●前面カバーは手で曲げながら引掛部分に差し込んで固定します。

■チャンネル（機器）番号・お知らせ設定の合せ方（P.56“調整手順書”も参照してください）

●本体底面のチャンネルスイッチで合わせます。

●チャンネル（機器）設定スイッチ（161～208チャンネル設定可能）
1側に設定されている番号の和がチャンネル番号になります。

●お知らせ設定スイッチ

A＝1側：表示変化時に表示部が5秒間点滅します。
　　0側：点滅なし。
B＝1側：表示変化時に電子音が0.5秒間鳴動します。
　　0側：鳴動なし。

■操作方法

●操作釦を押すたびに、表示部の色が、緑→赤→橙→消灯をくり返します。（表示順序は点灯モードにより異なります。詳しくは本書P.16の“伝送ユニット（M型）（EDN72201K）の取扱方法”をご参照ください。）

●この表示部と連動して、各表示器、表示盤の同じ名前番号の表示部が点灯します。

■ご注意

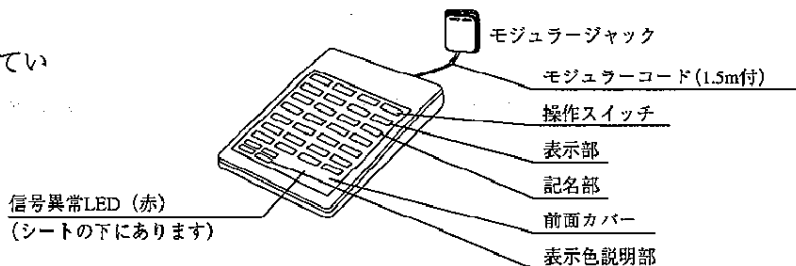
●表示窓数が24名以上必要な場合は卓上型表示器（24窓）（EDN594124）等と並用してください。

●チャンネル（機器）番号の設定は、本機器及び伝送ユニット（M型）（EDN72201K）を必ず非通電状態にしてから行ってください。通電状態でチャンネル（機器）番号を設定しますと、誤動作の原因となります。

●瞬時停電時には本機器の表示が一瞬消えます（0.5秒程度）が、異常ではありません。伝送ユニット（M型）よりデータを再送しますので元の状態に自動復帰します。（お知らせ機能をご使用の場合は表示復帰時に表示部が5秒間点滅し、電子音が0.5秒鳴動します。）

卓上型操作器（28窓）（EDN494128）の取扱方法

■各部の名称

●各窓に表示部と操作スイッチがついています。

モジュラージャック
モジュラーコード（1.5m付）
操作スイッチ
表示部
記名部
前面カバー
表示色説明部
信号異常LED（赤）
（シートの下にあります）

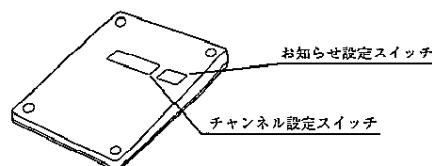
■記名部の記入方法

●シャープペンシルまたはボールペンの先などで前面カバーをあけてください。

●記名シートを取り出して該当部分に、ボールペンなどで記入します。

●前面カバーは手で曲げながら引掛部分に差し込んで固定します。

■チャンネル（機器）番号・お知らせ設定の合せ方（P.56“調整手順書”も参照してください）

●本体底面のチャンネルスイッチで合わせます。

●チャンネル（機器）設定スイッチ（209～212チャンネル設定可能）
1側に設定されている番号の和がチャンネル番号になります。

●お知らせ設定スイッチ

A＝1側：表示変化時に表示部が5秒間点滅します。
　　0側：点滅なし。
B＝1側：表示変化時に電子音が0.5秒間鳴動します。
　　0側：鳴動なし。

■操作方法

●操作釦を押すたびに、表示部の色が、緑→赤→橙→消灯をくり返します。（表示順序は点灯モードにより異なります。詳しくは本書のP.16の“伝送ユニット（M型）（EDN72201）の取扱方法”をご参照ください。）

●この表示部と連動して、各表示器、表示盤の同じ名前番号の表示部が点灯します。

■ご注意

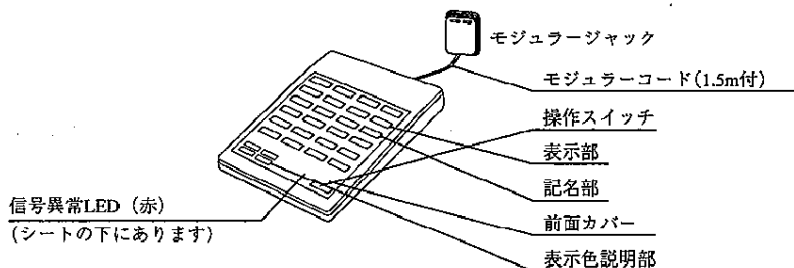
●表示窓数が28名以上必要な場合は2台（56名分）、3台（84名分）と並べて設置、使用できます。

●チャンネル（機器）番号の設定は、本機器及び伝送ユニット（M型）（EDN72201K）を必ず非通電状態にしてから行ってください。通電状態でチャンネル（機器）番号を設定しますと、誤動作の原因となります。

●瞬時停電時には本機器の表示が一瞬消えます（0.5秒程度）が、異常ではありません。伝送ユニット（M型）よりデータを再送しますので元の状態に自動復帰します。（お知らせ機能をご使用の場合は表示復帰時に表示部が5秒間点滅し、電子音が0.5秒鳴動します。）

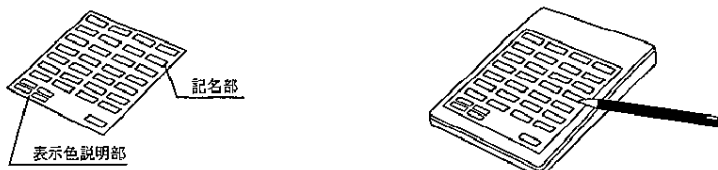
卓上型表示器（28窓）（EDN594128）の取扱方法

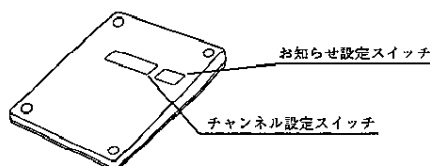
■各部の名称

●表示部がついています。

■記名部の記入方法

●シャープペンシルまたはボールペンの先などで前面カバーをあけてください。

●記名シートを取り出して該当部分に、ボールペンなどで記入します。

●前面カバーは手で曲げながら引掛部分に差し込んで固定します。

■チャンネル（機器）番号・お知らせ設定の合せ方（P.56 “調整手順書” も参照してください）

●本体底面のチャンネルスイッチで合わせます。

●チャンネル（機器）設定スイッチ（209～212チャンネル設定可能）
1側に設定されている番号の和がチャンネル番号になります。

●お知らせ設定スイッチ

A＝1側：表示変化時に表示部が5秒間点滅します。
　　0側：点滅なし。
B＝1側：表示変化時に電子音が0.5秒間鳴動します。
　　0側：鳴動なし。

■ご注意

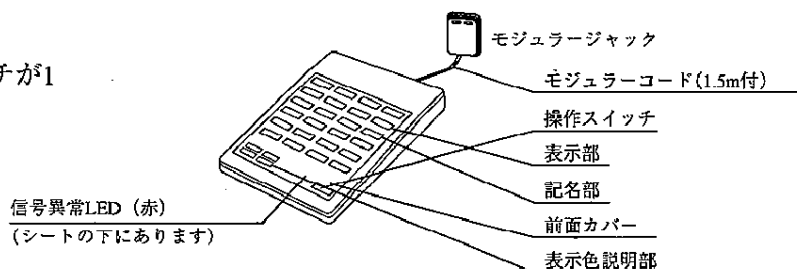
●表示窓数が28名以上必要な場合は2台（56名分）、3台（84名分）と並べて設置、使用できます。

●チャンネル（機器）番号の設定は、本機器及び伝送ユニット（M型）（EDN72201K）を必ず非通電状態にしてから行ってください。通電状態でチャンネル（機器）番号を設定しますと、誤動作の原因となります。

●瞬時停電時には本機器の表示が一瞬消えます（0.5秒程度）が、異常ではありません。伝送ユニット（M型）よりデータを再送しますので元の状態に自動復帰します。（お知らせ機能をご使用の場合は表示復帰時に表示部が5秒間点滅し、電子音が0.5秒鳴動します。）

卓上型操作器（個別用）（28窓表示器付）（EDN694128）の取扱方法

■各部の名称

●卓上型表示器に個人用操作スイッチが1個ついています。

モジュラージャック
モジュラーコード(1.5m付)
操作スイッチ
表示部
記名部
前面カバー
表示色説明部
信号異常LED（赤）
（シートの下にあります）

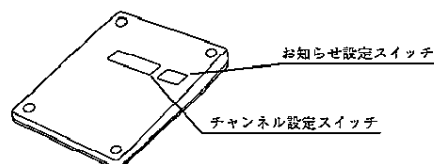
■記名部の記入方法

●シャープペンシルまたは、ボールペンの先などで前面カバーをあけてください。

●記名シートを取り出して該当部分に、ボールペンなどで記入します。

●前面カバーは手で曲げながら引掛部分に差し込んで固定します。

■チャンネル（機器）番号・お知らせ設定の合せ方（P.56“調整手順書”も参照してください）

●本体底面のチャンネルスイッチで合わせます。

●チャンネル（機器）設定スイッチ（213～220チャンネル設定可能）
1側に設定されている番号の和がチャンネル番号になります。

●お知らせ設定スイッチ

A＝1側：表示変化時に表示部が5秒間点滅します。
0側：点滅なし。
B＝1側：表示変化時に電子音が0.5秒間鳴動します。
0側：鳴動なし。

■操作方法

●操作釦を押すたびに、表示部の色が、緑→赤→橙→消灯をくり返します。（表示順序は点灯モードにより異なります。詳しくは本書P.16の“伝送ユニット（M型）（EDN72201K）の取扱方法”をご参照ください。）

●この表示部と連動して、各表示器、表示盤の同じ名前番号の表示部が点灯します。

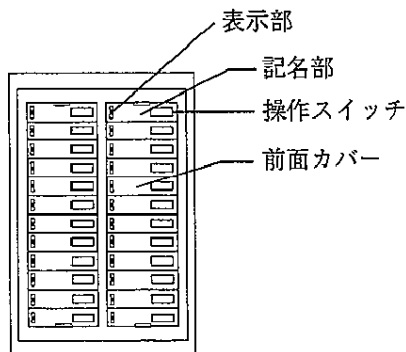
■ご注意

●表示窓数が28名以上必要な場合は卓上型表示器（28窓）（EDN594128）等と並用してください。

●チャンネル（機器）番号の設定は、本機器及び伝送ユニット（M型）（EDN72201K）の電源を必ず非通電状態にしてから行ってください。通電状態でチャンネル（機器）番号を設定しますと、誤動作の原因となります。

●瞬時停電時には本機器の表示が一瞬消えます（0.5秒程度）が、異常ではありません。伝送ユニット（M型）よりデータを再送しますので元の状態に自動復帰します。（お知らせ機能をご使用の場合は表示復帰時に表示部が5秒間点滅し、電子音が0.5秒鳴動します。）

壁掛型操作器（24窓）（EDN494324）の取扱方法

■各部の名称

■記名部の記入方法

●前面カバーをあけてください。

●記名シートを取り出して該当部分に、ボールペンなどで記入します。

●前面カバーは「パチン」と音がするところまで押しつけてとりつけてください。

■チャンネル（機器）番号・お知らせ設定の合せ方（P.56“調整手順書”も参照してください）

●左側の前面カバーと記名シートを取り外し、二ヶ所にわかれたチャンネル設定スイッチで合せます。

●チャンネル（機器）設定スイッチ（129～133チャンネル設定可能）

1側に設定されている番号の和がチャンネル番号になります。

（例　1＋4＋128＝133）

●お知らせ設定スイッチ

A＝1側：表示変化時に表示部が5秒間だけ点滅します。

0側：点滅なし。

B＝1側：表示変化時に電子音が0.5秒間鳴動します。

0側：鳴動なし。

■操作方法

●操作スイッチを押すたびに、表示部の色が、緑→赤→橙→消灯をくり返します。（表示順序は点灯モードにより異なります。詳しくは本書P.16の“伝送ユニット（M型）（EDN72201K）の取扱方法”をご参照ください。）

●この表示部と連動して、各表示器、表示盤の同じ名前番号の表示部が点灯します。

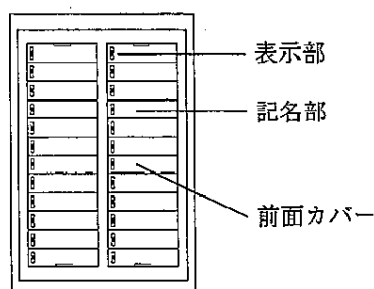
■ご注意

●表示窓数が24名以上必要な場合は2台（48名分）、3台（72名分）と並べて設置、使用できます。

●チャンネル（機器）番号の設定は、本機器及び伝送ユニット（M型）（EDN72201K）を必ず非通電状態にしてから行ってください。通電状態でチャンネル（機器）番号を設定しますと、誤動作の原因となります。

●瞬時停電時には本機器の表示が一瞬消えます（0.5秒程度）が、異常ではありません。伝送ユニット（M型）よりデータを再送しますので元の状態に自動復帰します。（お知らせ機能をご使用の場合は表示復帰時に表示部が5秒間点滅し、電子音が0.5秒鳴動します。）

壁掛型表示器（24窓）（EDN594324）の取扱方法

■各部の名称

■記名部の記入方法

●前面カバーをあけてください。

●記名シートを取り出して該当部分に、ボールペンなどで記入します。

●前面カバーは「パチン」と音がする所まで押しつけて取り付けてください。

■チャンネル（機器）番号・お知らせ設定の合せ方（P.56 “調整手順書” も参照してください）

●左側の前面カバーと記名シートを取り外し、二ヶ所にわかれたチャンネル設定スイッチで合せます。

● チャンネル設定スイッチ（上部）　● チャンネル設定スイッチ（下部）

1 0　A B　128 64　1 0　32 16 8 4 2 1

お知らせ設定スイッチ　チャンネル設定スイッチ

●チャンネル（機器）設定スイッチ（129～133チャンネル設定可能）

1側に設定されている番号の和がチャンネル番号になります。

（例　1＋4＋128＝133）

●お知らせ設定スイッチ

A＝1側：表示変化時に表示部が5秒間だけ点滅します。

0側：点滅なし。

B＝1側：表示変化時に電子音が0.5秒間鳴動します。

0側：鳴動なし。

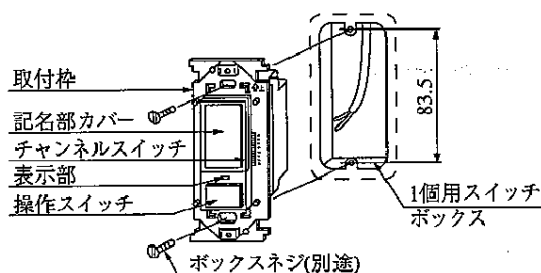
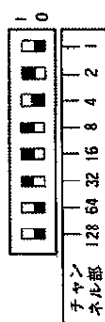
■ご注意

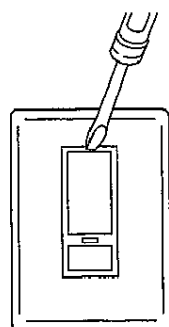
●表示窓数が24名以上必要な場合は2台（48名分）、3台（72名分）と並べて設置、使用できます。

●チャンネル（機器）番号の設定は、本機器及び伝送ユニット（M型）（EDN72201K）を必ず非通電状態にしてから行ってください。通電状態でチャンネル（機器）番号を設定しますと、誤動作の原因となります。

●瞬時停電時には本機器の表示が一瞬消えます（0.5秒程度）が、異常ではありません。伝送ユニット（M型）よりデータを再送しますので元の状態に自動復帰します。（お知らせ機能をご使用の場合は表示復帰時に表示部が5秒間点滅し、電子音が0.5秒鳴動します。）

埋込型操作器（個別用）（EDN494401）の取扱方法

■各部の名称

■チャンネル（機器）番号の合せ方
（P.56 "調整手順書" も参照してください）

1～120チャンネル（機器）番号まで設定可能。
1側に設定されている番号の和がチャンネル（機器）番号になります。
例　32＋16＋8＋2＝58

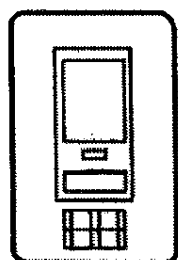
■記名部の記入方法

(－)ドライバー等であけてください。

●記名シートにボールペン等で記入してください。

■操作方法

●操作スイッチを押すたびに表示部の色が、緑→赤→橙→消灯をくり返します。（4モード表示の場合）
●表示順序は伝送ユニットの点灯モード（動作モード）により異なります。詳しくは本書P.16の "伝送ユニット（M型）（EDN72201K）の取扱方法" をご参照ください。
●この表示部と連動して、各表示器、表示盤の同じ名前番号の表示部が点灯します。

■ご注意

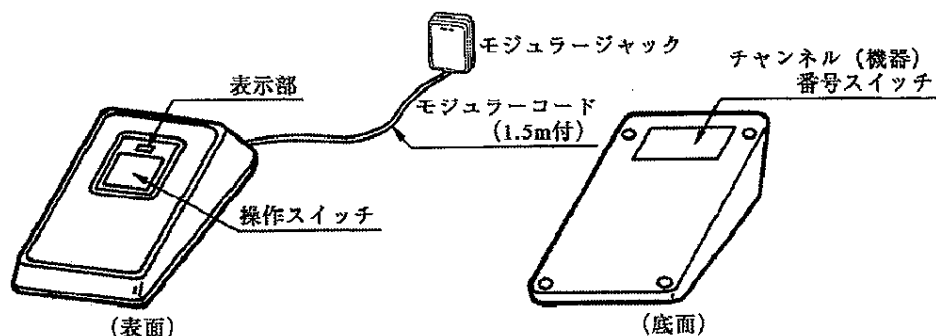
●4モードで使用する場合は表示色説明シールを新金属プレートに貼ってください。

表示色説明シール

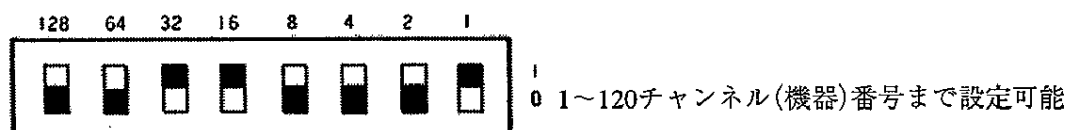
－記入例－

緑	在席	赤	会議
橙	出張	消	退社

●チャンネル（機器）番号の設定は、伝送ユニット（M型）（EDN72201K）を必ず非通電状態にしてから行ってください。通電状態でチャンネル（機器）番号を設定しますと、誤動作の原因となります。
●瞬時停電時には本機器の表示が一瞬消えますが、異常ではありません。伝送ユニット（M型）よりデータを再送しますので元の状態に自動復帰します。

卓上型操作器（個別用）（EDN494101）の取扱方法

■各部の名称

■チャンネル（機器）番号の合せ方（P.56“調整手順書”も参照してください）

本体底面のチャンネル（機器）設定スイッチで合せます。

1側に設定されている番号の和がチャンネル（機器）番号になります。

例　32＋16＋1＝49

■操作方法

- 操作スイッチを押すたびに表示部の色が、緑→赤→橙→消灯をくり返します。（4モード表示の場合）
- 表示順序は伝送ユニットの点灯モード（動作モード）により異なります。詳しくは本書P.16の“伝送ユニット（M型）（END72201K）の取扱方法”をご参照ください。
- この表示部と連動して、各表示器、表示盤の同じ名前番号の表示部が点灯します。

■ご注意

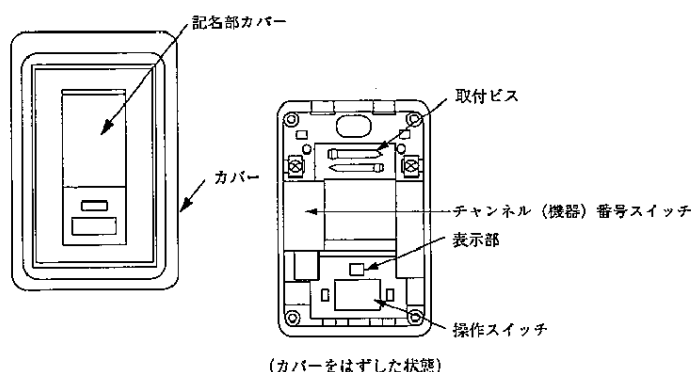
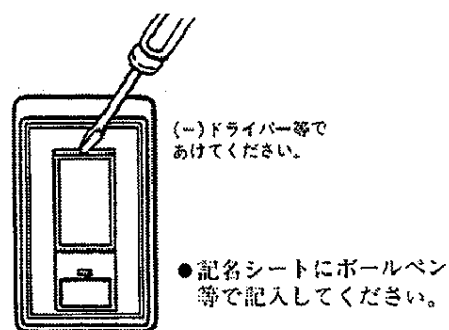
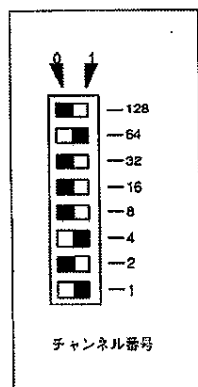
- 4モードで使用する場合は表示色説明シールを側面に貼ってください。

－記入例－

緑	在席	赤	会議
橙	出張	消	退社

- チャンネル（機器）番号の設定は、伝送ユニット（M型）（EDN72201K）を必ず非通電状態にしてから行ってください。通電状態でチャンネル（機器）番号を設定しますと、誤動作の原因となります。
- 瞬時停電時には本機器の表示が一瞬消えますが、異常ではありません。伝送ユニット（M型）よりデータを再送しますので元の状態に自動復帰します。

露出型操作器（個別用）（EDN494201）の取扱方法

■各部の名称

■記名部の記入方法

■チャンネル（機器）番号の合せ方（P.56 “調整手順書” も参照してください）

1側に設定されている番号の和がチャンネル（機器）番号になります。
例　64＋4＋1＝69
（1～120チャンネル設定可能）

■操作方法

●操作スイッチを押すたびに表示部の色が、緑→赤→橙→消灯をくり返します。（4モード表示の場合）
●表示順序は伝送ユニットの点灯モード（動作モード）により異なります。詳しくは本書P.16の“伝送ユニット（M型）（EDN72201K）の取扱方法”をご参照ください。
●この表示部と連動して、各表示器、表示盤の同じ名前番号の表示部が点灯します。

■ご注意

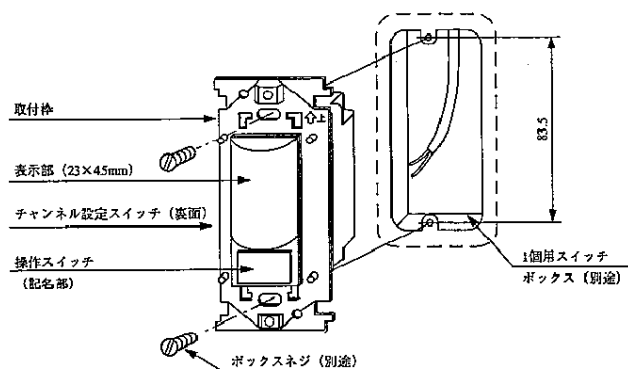
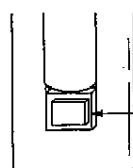
●4モードでご使用になる場合、表示説明シールをプレートに貼ってください。

－記入例－

緑	在席	赤	会議
橙	出張	消	退社

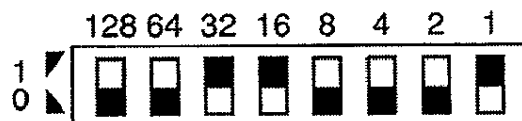
●チャンネル（機器）番号の設定は、伝送ユニット（M型）（EDN72201K）を必ず非通電状態にしてから行ってください。通電状態でチャンネル（機器）番号を設定しますと、誤動作の原因となります。
●瞬時停電時には本機器の表示が一瞬消えます（0.5秒程度）が、異常ではありません。伝送ユニット（M型）よりデータを再送しますので元の状態に自動復帰します。

埋込型表示ランプ（スイッチ付）（EDN494601）の取扱方法

■各部の名称

■記名部の記入方法

■チャンネル（機器）番号の合わせ方（P.56“調整手順書”も参照してください）

(1)チャンネル設定

※裏面のチャンネル（機器）設定スイッチであわせます。

● 「1」側に設定されている番号の和がチャンネル番号になります。上記の例では、32＋16＋1＝49となります。
● （1～120まで可能）

■操作方法

(1) 操作スイッチを押すたびに表示部の色が緑→赤→橙→消灯をくり返します。（4モード表示の場合）表示順序は伝送ユニットの点灯モード（動作モード）により異なります。詳しくは本書P.16の“伝送ユニット（M型）（EDN72201K）の取扱方法”をご参照ください。

(2) この表示部と連動して各表示器、表示盤の同じ名前番号の表示部が、点灯します。

■ご注意

●4モードでご使用になる場合、付属の表示説明シールをプレートに貼ってください。

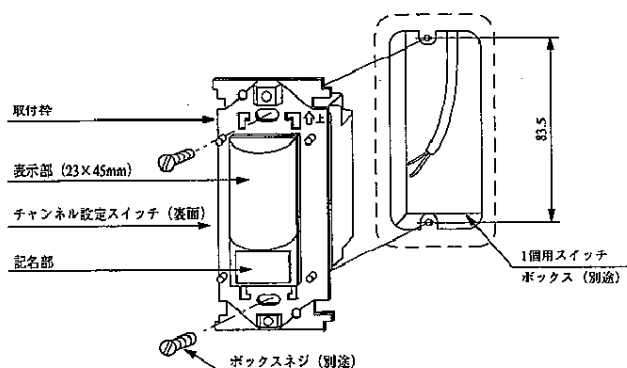
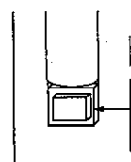
－記入例－

緑	在席	赤	会議
橙	出張	消	退社

●チャンネル（機器）番号の設定は、伝送ユニット（M型）（EDN72201K）を必ず非通電状態にしてから行ってください。通電状態でチャンネル（機器）番号を設定しますと、誤動作の原因となります。

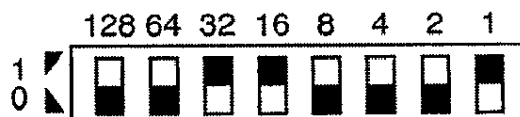
●瞬時停電時には本機器の表示が一瞬消えますが、異常ではありません。伝送ユニット（M型）よりデータを再送しますので元の状態に自動復帰します。

埋込型表示ランプ（スイッチなし）（EDN594601）の取扱方法

■各部の名称

■記名部の記入方法

■チャンネル（機器）番号の合わせ方（P.56“調整手順書”も参照してください）

(1) チャンネル設定

※裏面のチャンネル設定スイッチであわせます。

- 「1」側に設定されている番号の和がチャンネル番号になります。上記の例では、32＋16＋1＝49となります。
- （1～120まで可能）

■操作方法

他の機器の同じ名前番号の操作器が操作されるたびに、表示部の点灯色が緑→赤→橙→消灯をくり返します。（4モード表示の場合）表示順序は伝送ユニットの点灯モード（動作モード）により異なります。詳しくは本書P.18の“伝送ユニット（M型）（EDN72201K）の取扱方法”をご参照ください。

■ご注意

●4モードでご使用になる場合、付属の表示説明シールをプレートに貼ってください。

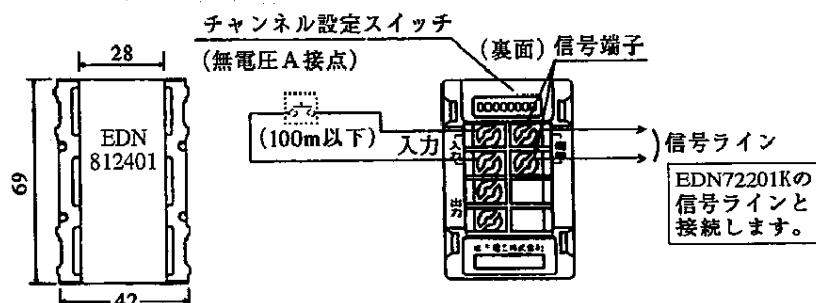
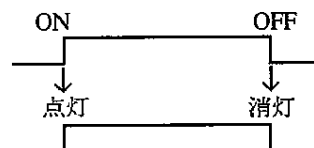
―記入例―

緑	在席	赤	会議
橙	出張	消	退社

●チャンネル（機器）番号の設定は、伝送ユニット（M型）（EDN72201K）を必ず非通電状態にしてから行ってください。通電状態でチャンネル（機器）番号を設定しますと、誤動作の原因となります。

●瞬時停電時には本機器の表示が一瞬消えますが、異常ではありません。伝送ユニット（M型）よりデータを再送しますので元の状態に自動復帰します。

入力端末器（１入力・１出力）（EDN812401）の取扱方法

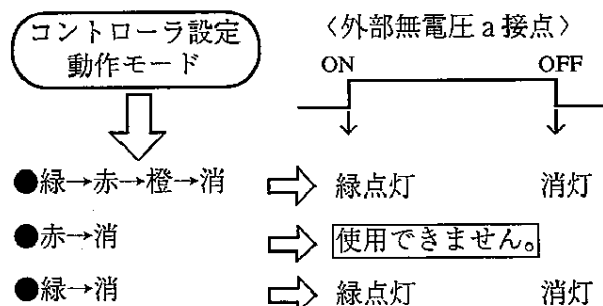
出力端子は使えません。

■各部の名称

■操作方法

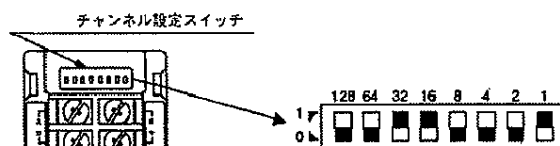
(1) 入力端子に入力されたときの動作

（2モード、4モード共）＝（緑色点灯）

(2) 本器の使用できる範囲は下記の通りです。

入力端子

■チャンネル（機器）番号の合わせ方（P.56“調整手順書”も参照してください）

(1) 本器のチャンネル設定

●裏面端子部上にあるチャンネル設定スイッチで設定します。

●上の例は、1、16、32のディップスイッチが「1」側に設定されています。

●「1」側に設定されている番号の和が本器のチャンネル番号となります。
上記の例では、32+16+1=49となります。

●1～120まで可能

【ご注意】

●他の機器とは同一チャンネルに合わさないでください。

●チャンネル（機器）番号の設定は、伝送ユニット（M型）（EDN72201K）の電源を必ず非通電状態にしてから行ってください。通電状態でチャンネル（機器）番号を設定しますと、誤動作の原因となります。

(2) 窓番号の数え方

入力端子の窓番号は「1」

(3) 名前番号の設定（本器のチャンネル設定により固定されています）

●「入力端子」－ 外部無電圧ａ接点によって点灯される、表示窓の人（または部屋等）の名前番号を設定します。

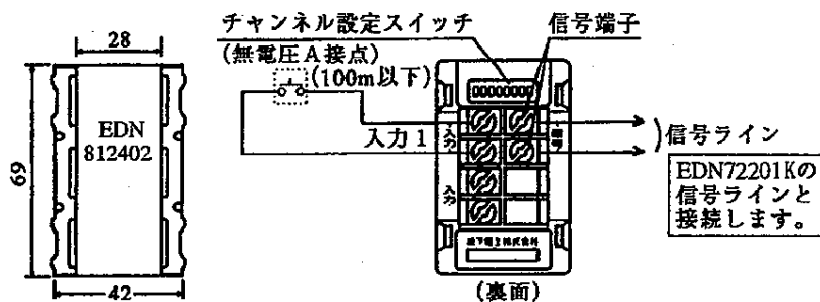
●名前番号は1～120の範囲で設定できます。

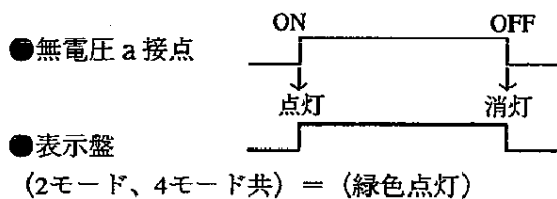
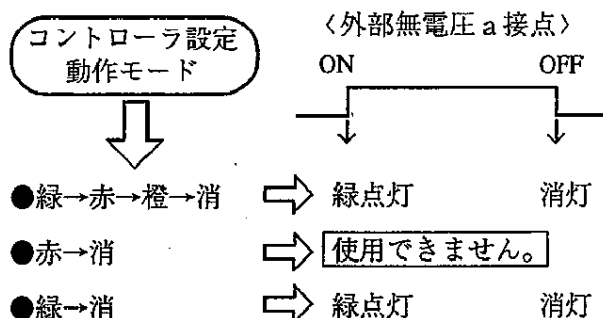
【ご注意】

●2ヶ所以上の入力端子に同一の名前番号の設定はできません。

入力端末器（2入力用）（EDN812402）の取扱方法

2入力目の端子は使用できません。

■各部の名称

■操作方法

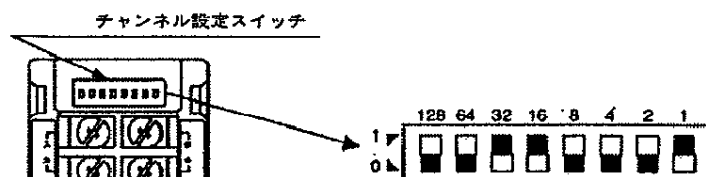
(1) 入力端子に入力されたときの動作

(2モード、4モード共) ＝ (緑色点灯)

(2)　本器の使用できる範囲は下記の通りです。

入力端子

■チャンネル（機器）番号の合わせ方（P.56"調整手順書"も参照してください）

(1) 本器のチャンネル設定

●裏面端子部上にあるチャンネル設定スイッチで設定します。

●上の例は、1、16、32のチャンネル設定スイッチが「1」側に設定されています。

●「1」側に設定されている番号の和が本器のチャンネル番号となります。上記の例では、32＋16＋1＝49となります。

【ご注意】

●他の機器とは同一チャンネルに合わさないでください。

●チャンネル（機器）番号の設定は、伝送ユニット（M型）（EDN72201K）の電源を必ず非通電状態にしてから行ってください。通電状態でチャンネル（機器）番号を設定しますと、誤動作の原因となります。

●チャンネルの設定範囲は、1～120までできます。

(2) 窓番号の数え方

入力端子「1」の窓番号は「1」

(3) 名前番号の設定（本器のチャンネル設定により固定されています）

●「入力端子（1）」――外部無電圧ａ接点（1）によって点灯される、表示窓の人（または部屋等）の名前番号を設定します。

●名前番号は1～120の範囲で設定できます。

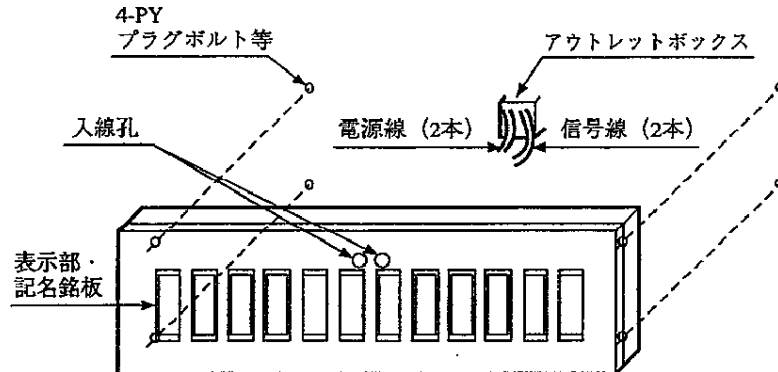
【ご注意】

●本器を2台以上使用時、同一の名前番号の設定はできません。

壁掛型表示盤の取扱方法

EDN111302, EDN111303, EDN111304, EDN111306, EDN111308, EDN111310,
EDN111312, EDN111316, EDN111318, EDN111320, EDN111324
EDN111332, EDN111340, EDN111348, EDN111364,
EDN112302, EDN112303, EDN112304, EDN112306, EDN112308, EDN112310,
EDN112312, EDN112316, EDN112318, EDN112320, EDN112324
EDN112332, EDN112340, EDN112348, EDN112364,
EDN114302, EDN114303, EDN114304, EDN114306, EDN114308, EDN114310,
EDN114312, EDN114316, EDN114318, EDN114320, EDN114324
EDN114332, EDN114340, EDN114348, EDN114364,
EDN114908, EDN114912, EDN114916, EDN114924,

■各部の名称

4-PY
プラグボルト等
アウトレットボックス
入線孔
電源線（2本）
信号線（2本）
表示部・
記名銘板

■チャンネル（機器）番号の合せ方（P.56“調整手順書”も参照してください）

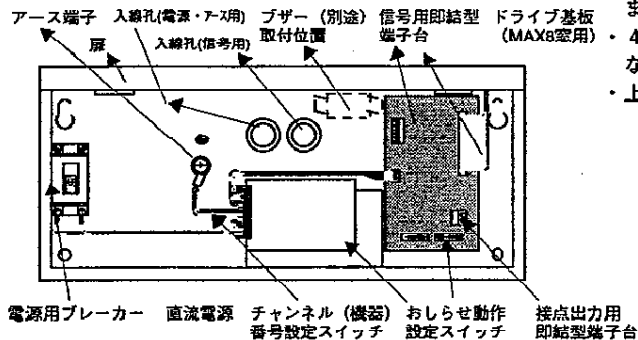
プリント基板上のチャンネル（機器）番号設定スイッチで設定してください。

●2，3，4，6，8窓の場合（下図は8窓型）
ドライブ基板は“MAX8窓用”が内臓されています。

表示盤内部配置図

- 2，3，4窓と6，8窓とでケースの大きさが異なります。
- 2モード型は、2，3，4窓と、6，8窓とで直流電源が異なります。
- 4モード型は、2，3，4窓と、6窓と、8窓とで直流電源が異なります。
- 上記の違いにより部品間の距離が異なります。

●16，18，20，24窓の場合

- ドライブ基板は“MAX30窓用”が内臓されていますが、設置位置が10，12窓の場合と異なります。
- 2モード型は、16，18窓と、20，24窓とで直流電源が異なります。
- 4モード型は、16窓と、18，20，24窓とで直流電源が異なります。
- 上記の違いにより部品間の距離が異なります。

●10，12窓の場合（下図は12窓型）
ドライブ基板は“MAX30窓用”が内臓されています。

表示盤内部配置図

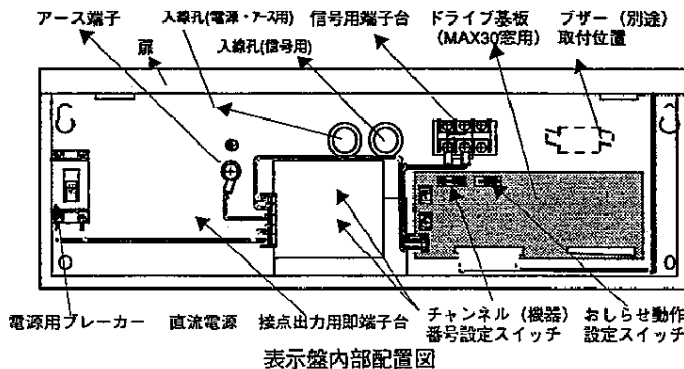
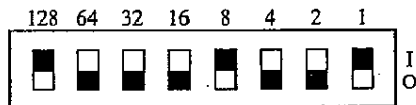
●32窓の場合

ドライブ基板は2枚（“MAX8窓用”と“MAX30窓用”）内臓されています。

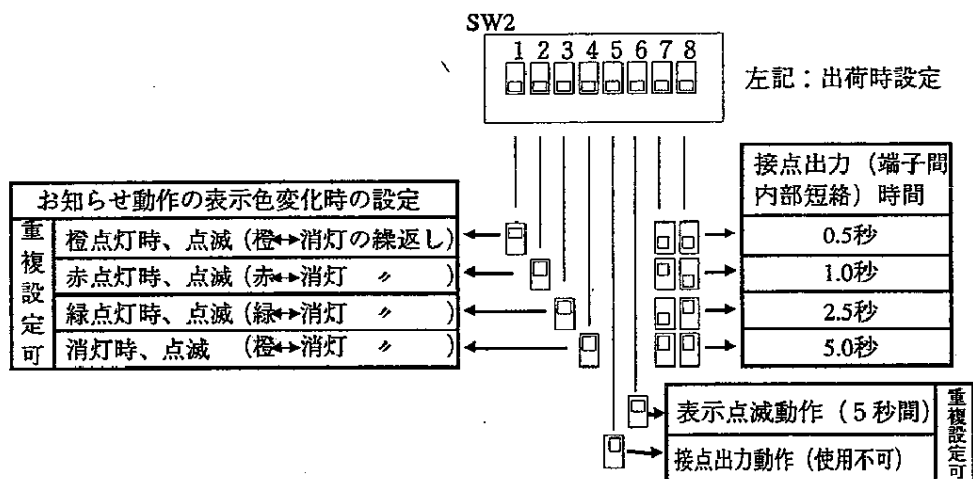
●40，48窓の場合

- ドライブ基板は“MAX30窓用”が2枚内臓されています。
- 直流電源は表示器1台に2個付いています。4モード型の場合、40窓と、48窓とで片方の直流電源が異なります。

●64窓の場合

- ドライブ基板は3枚（“MAX8窓用”×1と“MAX30窓用”×2）内臓されています。
- 直流電源は表示器1台に2個付いています。

129～133、137～140チャンネル（機器）番号まで設定可能。
1側に設定されている番号の和がチャンネル（機器）番号になります。
例　128＋64＋32＋2＝226

■おしらせ動作の合せ方
●おしらせ動作には、次の２種類があります。基板上のSW2にて設定してください。

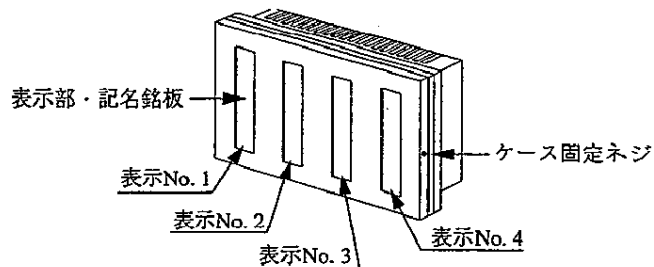
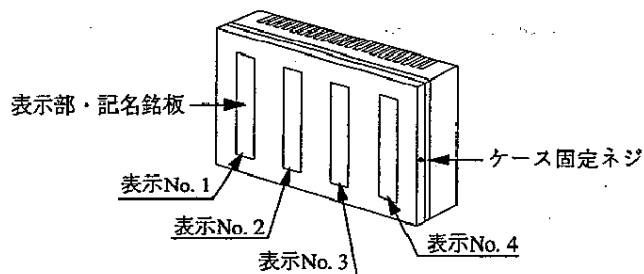
おしらせ動作 { 表示点滅（5秒間）
接点出力（端子間が基板内部で短絡します）

●伝送ユニット（M型）のシステムでは、接点出力動作は御使用になれません
（表示点滅は御使用いただけます）

■操作方法
●電源スイッチを“入”にします。
●操作器の押釦を押す毎に、緑→赤→橙→消灯をくり返します。（表示順序は点灯モード、表示盤の種類により異なります。詳しくは本書P.16の“伝送ユニット（M型）（EDN72201K）の取扱方法”をご参照ください。）

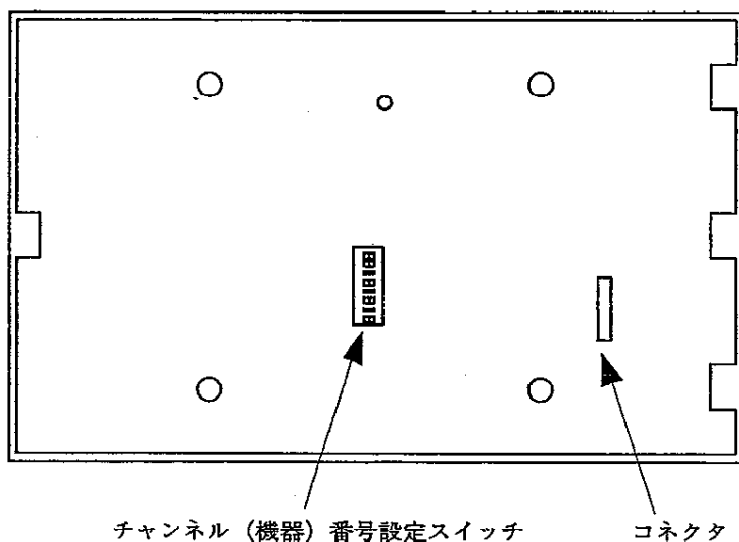
■ご注意
●チャンネル（機器）番号の設定は、本機器及び伝送ユニット（M型）（EDN72201K）の電源を必ず非通電状態にしてから行ってください。通電状態でチャンネル（機器）番号を設定しますと、誤動作の原因となります。
●瞬時停電時には本機器の表示が一瞬消えますが、異常ではありません。伝送ユニット（M型）よりデータを再送しますので元の状態に自動復帰します。（お知らせ機能をご使用の場合は表示復帰時に表示部が5秒間点滅します。）
●伝送ユニット（M型）では、表示盤用の窓登録を各チャンネルとも30窓まで固定で登録しているため、実際の表示盤には無い窓のデータ（例：24窓表示盤の場合の25窓から30窓のデータ）も伝送されてきます。この実際には無い窓のデータにもお知らせ動作が反応し、接点出力動作では誤動作となってしまうため、接点出力によるお知らせは御使用になれません。

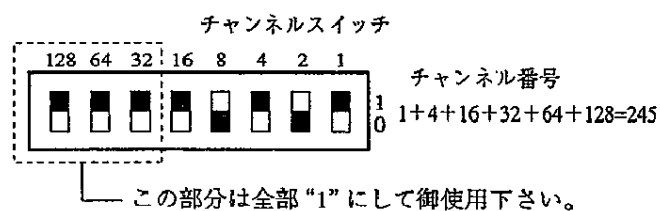
表示ユニットの取扱方法

EDN121304, EDN121404, EDN122304, EDN122404, EDN124304, EDN124404

■各部の名称

露出型（EDN121304, EDN122304, EDN124304）　埋込型（EDN121404, EDN122404, EDN124404）

■チャンネル番号の合せ方（P.56 “調整手順書” も参照してください）

●表面カバーを外し、プリント基板上の伝送モジュールのチャンネルスイッチで設定して下さい。

上ケース裏面配置図

●表示No.に応じたチャンネル番号に設定してください。（225～254チャンネル設定可能）

■操作方法

●操作器の操作スイッチを押すたびに、連動した表示部の色が、緑→赤→橙→消灯（4モードのEDN124304,EDN124404の場合）をくり返します。（表示順序は点灯モード、表示ユニットの種類により異なります。詳しくは本書P.16の“伝送ユニット（M型）（EDN72201K）の取扱方法”をご参照ください。）

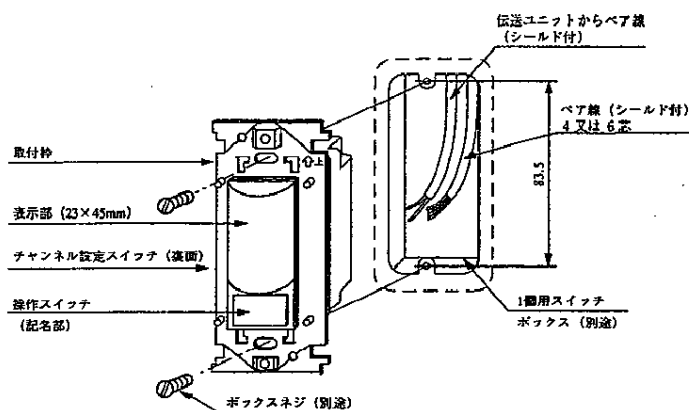
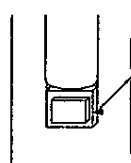
■ご注意

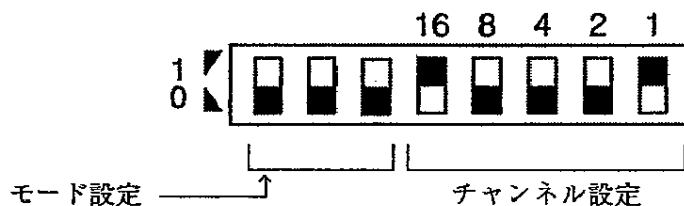
●チャンネル（機器）番号の設定は、本機器及び伝送ユニット（M型）（EDN72201K）の電源を必ず非通電状態にしてから行ってください。通電状態でチャンネル（機器）番号を設定しますと、誤動作の原因となります。

●瞬時停電時には本機器の表示が一瞬（約0.5秒）消えますが、異常ではありません。伝送ユニット（M型）よりデータを再送しますので元の状態に自動復帰します。

埋込型廊下灯（個別用・復旧釦付）（呼出表示用）（EDN447401K）の取扱方法

本器1台の信号消費電流は70mAありますので、台数を多く接続される場合、本器を含めた接続機器の合計信号消費電流にご注意ください。例えば伝送ユニットに表示盤（呼出表示用）1台と本器8台以上を接続される場合、本器の7台目以降は中継増幅器を経由して接続してください。

■各部の名称

■記名部の記入方法

- スイッチカバーをひっぱってはずしてください。
- 警報呼出表示機能の場合…
  "復旧／使用中"（付属）のシールをはってください。
  トイレ緊急呼出表示機能の場合…
  "復旧"のシールをはってください。
- スイッチカバーをとりつけてください。

■チャンネル（機器）番号の合わせ方（P.56"プログラム設定手順書"も参照してください）
裏面のチャンネル（機器）設定スイッチであわせます。

●モード設定スイッチを「0」「0」「0」とすると、次ページの"常時"、"呼出表示（①②③④）"のみの専用動作が可能です。……トイレ緊急呼出表示モード
モード設定スイッチを「1」「0」「0」とすると、次ページの"常時"、"呼出表示（①②③④）"に加えさらに"使用中表示"が可能です。…警報…呼出表示モード

用途に応じて、埋込型廊下灯（個別用・復旧釦付）（呼出表示用）（EDN447401K）にて上記の設定をしてください。これにより表示盤（呼出表示用）において、窓単位でモードの設定が可能です。

●伝送ユニット（M型）に登録されているチャンネル番号（17~26まで可）を設定してください。「1」側に設定されている番号の和がその値になります。上記の例では、チャンネル番号が17の場合、16+1=17となり、上記の絵のように設定してください。

(2)窓番号の数え方
●窓番号はすべてのEDN447401Kにおいて「1」としてください。

(3)名前番号
10名（10ヶ所）まで設置可能です。

操作手順と動作内容　表中の「埋込型廊下灯（個別用・復旧釦付）（呼出表示用）の"呼出入力"端子間」の開／閉は、呼出用押釦でおこないます。呼出用押釦とは、埋込プルスイッチ付押釦スイッチ、机下型操作器（個別用）（呼出表示用）、埋込型操作器（個別用）（呼出表示用）のことです。

用途		操作手順	表示盤（呼出表示用）		埋込型廊下灯（個別用・復旧釦付）（呼出表示用）		
			表示	ブザー	表示	"外部出力"	"LED出力"の電圧
警報呼出表示	常時		消灯	止	消灯	開	なし
	使用中表示	埋込型廊下灯（個別用・復旧釦付）（呼出表示用）の操作スイッチを押す《使用中表示》	橙点灯		橙点灯		
	呼出表示	① 上記の"呼出入力"端子間を開く《呼出表示》	赤点滅	鳴	赤点滅	閉	あり
		② 表示盤（呼出表示用）の"ブザー停止"釦を押す《確認中表示》	赤点灯	止			
		③ 埋込型廊下灯（個別用・復旧釦付）（呼出表示用）の操作スイッチを押す《確認表示》	緑点灯		緑点灯	開	なし
		④ 表示盤（呼出表示用）の"復旧"釦を押す ="常時"《一斉復旧》	"常時"と同じ				
トイレ緊急呼出表示		上記“常時”および“呼出表示（①～④）”と同じ					

説明）・動作は→の方向へ遷移することができる。
・"使用中表示"動作中に再度"使用中表示"の操作が入れば、"常時"へ戻る。
・①は、"常時"、"使用中表示"のどちらの状態からでも優先的に割り込み動作をする。
・②、③動作時に①の操作が入れば、①以降の動作をする。
・①動作時に③を操作すると、③以降を動作する。
・③、④は埋込型廊下灯（個別用・復旧釦付）（呼出表示用）の"呼出入力"端子間が閉条件が必要

呼出表示システムには異常検出の機能があります。
現象と異常内容の関係を次に示します。

機器異常検出機能動作表　＊ 呼出用押釦とは、b接点を有する 埋込プルスイッチ付押釦スイッチ（WS65772）、机下型操作器（個別用）（呼出表示用）（EDN446202）、埋込型操作器（個別用）（呼出表示用）（EDN446403）のことです。
― は、正常時の表示状態を保持することを示します。

異常内容	埋込型廊下灯（個別用・復旧釦付）（呼出表示用）			表示盤（呼出表示用）					
	表示	“外部出力” 「開」時、ブザー(別途)消音 「閉」時、ブザー(別途)鳴動	“LED出力”の電圧 「なし」時ﾊﾟｲﾛｯﾄﾗﾝﾌﾟ(ﾌﾟﾙｽｲｯﾁ付押釦)消灯 「あり」時ﾊﾟｲﾛｯﾄﾗﾝﾌﾟ(ﾌﾟﾙｽｲｯﾁ付押釦)点灯	表示窓	ブザー	電源灯(緑)	故障表示灯 呼出(緑)	故障表示灯 廊下灯(橙)	故障表示灯 信号(赤)
異常時1 伝送ユニット異常（2線式多重）信号異常	消灯	開	なし	―	鳴動(連続音)	点灯	消灯	消灯	点灯
異常時2 表示盤異常 CPU断、暴走、停止	―	―	―	不定	鳴動(連続音)	消灯	不定	不定	不定
異常時3 表示盤の電源OFF	―	―	―	消灯	消音	消灯	消灯	消灯	消灯
異常時4 埋込型廊下灯異常 埋込型廊下灯未接続	消灯	開	なし	緑点滅(対応表示窓)	鳴動(連続音)	点灯	消灯	点灯	消灯
異常時5 埋込型廊下灯復旧釦異常 或いは呼出用押釦5秒以上ON 呼出用押釦（*）異常 或いはb接点5秒以上断	緑点滅	閉／開 繰り返し	あり／なし 繰り返し	緑点滅(対応表示窓)	鳴動(連続音)	点灯	点灯	消灯	消灯

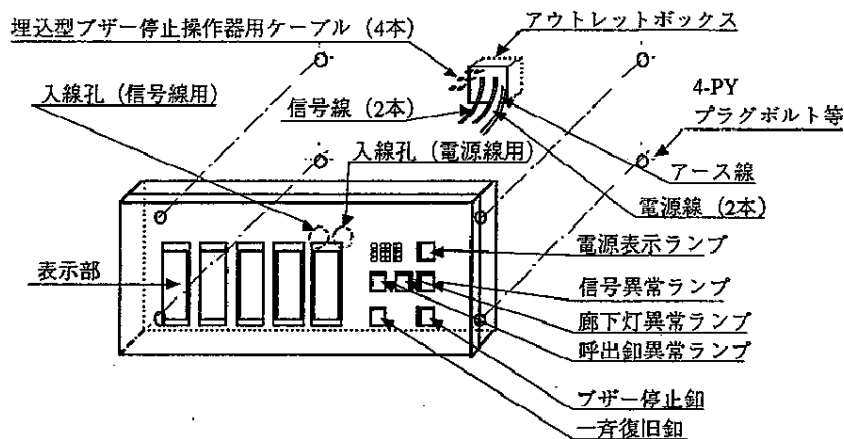
■ご注意

●チャンネル（機器）番号の設定は、本機器及び伝送ユニット（M型）（EDN72201K）の電源を必ず非通電状態にしてから行ってください。通電状態でチャンネル（機器）番号を設定しますと、誤動作の原因となります。

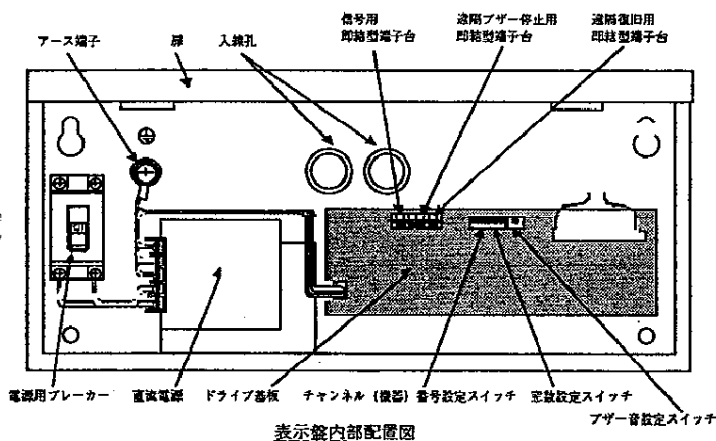
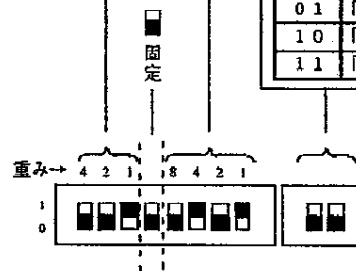
●瞬時停電時には本機器の表示が一瞬消えますが、異常ではありません。伝送ユニット（M型）よりデータを再送しますので元の状態に自動復帰します。

壁掛型表示盤（呼出表示用）の取扱方法

EDN146301, EDN146303, EDN146305, EDN146310

■各部の名称

■チャンネル（機器）番号、窓数、ブザー音の合わせ方（P.56“調整手順書”も参照してください）

プリント基板上の各設定スイッチで設定してください。

設定	音
0 0	「ピピピピ…」
0 1	「ピピピッ、ピピピッ、…」
1 0	「ピー、ピー、…」
1 1	「ピー…」

表示盤内部配置図

■ご注意

●必ず窓数設定を、接続されている埋込型廊下灯（個別用・復旧釦付）（呼出表示用）（END447401K）の数と同じに設定してください。もし　窓数<END447401Kの数　に設定すると、次々ページの異常時4が動作してしまいます。

■操作方法

●電源スイッチを“入”にします。

●埋込型廊下灯（個別用・復旧釦付）（呼出表示用）、呼出用押釦との組み合わせ操作により、次のように動作します。但し動作内容は、上記埋込型廊下灯のスイッチの設定が警報呼出表示モードの場合とトイレ緊急呼出表示モードの場合とで異なります。

操作手順と動作内容　表中の「埋込型廊下灯（個別用・復旧釦付）（呼出表示用）の"呼出入力"端子間」の開／閉は、呼出用押釦でおこないます。呼出用押釦とは、埋込プルスイッチ付押釦スイッチ、机下型操作器（個別用）（呼出表示用）、埋込型操作器（個別用）（呼出表示用）のことです。

用途		操作手順	表示盤（呼出表示用）		埋込型廊下灯（個別用・復旧釦付）（呼出表示用）		
			表示	ブザー	表示	"外部出力"	"LED出力"の電圧
警報呼出表示	常時		消灯	止	消灯	開	なし
	使用中表示	埋込型廊下灯（個別用・復旧釦付）（呼出表示用）の操作スイッチを押す《使用中表示》	橙点灯		橙点灯		
	呼出表示	① 上記の"呼出入力"端子間を開く《呼出表示》	赤点滅	鳴	赤点滅	閉	あり
		② 表示盤（呼出表示用）の"ブザー停止"釦を押す《確認中表示》	赤点灯	止			
		③ 埋込型廊下灯（個別用・復旧釦付）（呼出表示用）の操作スイッチを押す《確認表示》	緑点灯		緑点灯	開	なし
		④ 表示盤（呼出表示用）の"復旧"釦を押す ="常時"《一斉復旧》	"常時"と同じ				
トイレ緊急呼出表示		上記“常時”および“呼出表示（①～④）”と同じ					

説明）・動作は→の方向へ遷移することができる。
・"使用中表示"動作中に再度"使用中表示"の操作が入れば、"常時"へ戻る。
・①は、"常時"、"使用中表示"のどちらの状態からでも優先的に割り込み動作をする。
・②、③動作時に①の操作が入れば、①以降の動作をする。
・①動作時に③を操作すると、③以降を動作する。
・③、④は埋込型廊下灯（個別用・復旧釦付）（呼出表示用）の"呼出入力"端子間が閉条件が必要

呼出表示システムには異常検出の機能があります。
現象と異常内容の関係を次に示します。

機器異常検出機能動作表

* 呼出用押釦とは、b接点を有する 埋込プルスイッチ付押釦スイッチ（WS65772）、机下型操作器（個別用）（呼出表示用）（EDN446202）、埋込型操作器（個別用）（呼出表示用）（EDN446403）のことです。
— は、正常時の表示状態を保持することを示します。

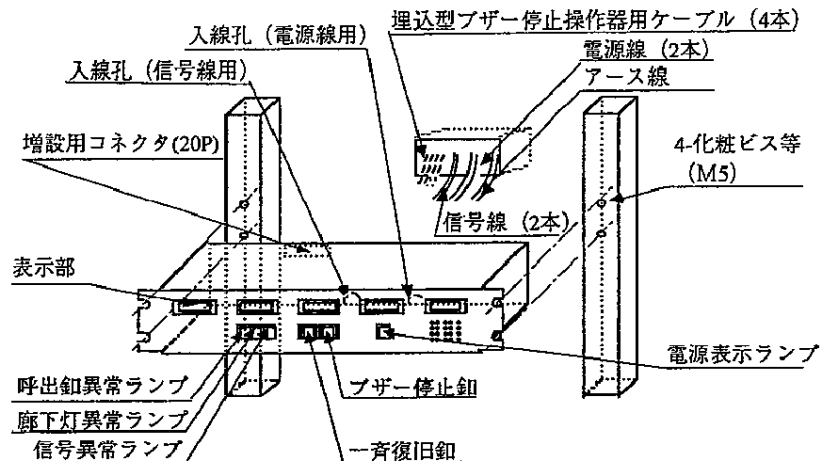
異常内容	埋込型廊下灯（個別用・復旧釦付）（呼出表示用）			表示盤（呼出表示用）					
	表示	"外部出力" 「開」時、ブザー（別途）消音 「閉」時、ブザー（別途）鳴動	"LED出力"の電圧 「なし」時パイロットランプ（プルスイッチ付押釦）消灯 「あり」時パイロットランプ（プルスイッチ付押釦）点灯	表示窓	ブザー	電源灯（緑）	故障表示灯		
							呼出（緑）	廊下灯（橙）	信号（赤）
異常時1 伝送ユニット異常（2線式多重）信号異常	消灯	開	なし	—	鳴動（連続音）	点灯	消灯	消灯	点灯
異常時2 表示盤異常 CPU断、暴走、停止	—	—	—	不定	鳴動（連続音）	消灯	不定	不定	不定
異常時3 表示盤の電源OFF	—	—	—	消灯	消音	消灯	消灯	消灯	消灯
異常時4 埋込型廊下灯異常 埋込型廊下灯未接続	消灯	開	なし	緑点滅（対応表示窓）	鳴動（連続音）	点灯	消灯	点灯	消灯
異常時5 埋込型廊下灯復旧釦異常 或いは呼出用押釦5秒以上ON 呼出用押釦（*）異常 或いはb接点5秒以上断	緑点滅	閉／開 繰り返し	あり／なし 繰り返し	緑点滅（対応表示窓）	鳴動（連続音）	点灯	点灯	消灯	消灯

■ご注意

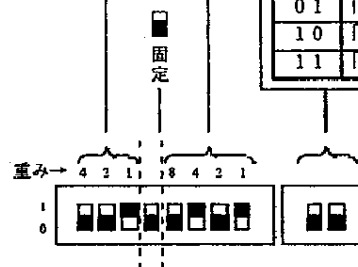
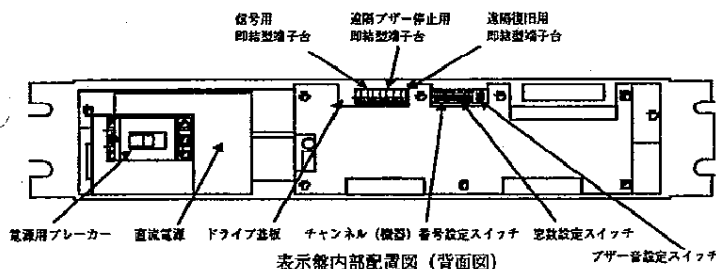
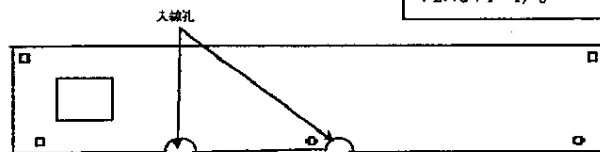
●チャンネル（機器）番号の設定は、本機器及び伝送ユニット（M型）（EDN72201K）の電源を必ず非通電状態にしてから行ってください。通電状態でチャンネル（機器）番号を設定しますと、誤動作の原因となります。
●瞬時停電時には本機器の表示が一瞬消えますが、異常ではありません。伝送ユニット（M型）よりデータを再送しますので元の状態に自動復帰します。
●電源投入時1度ブザーが鳴りますが異常ではありません。
●電源投入の際は、各システムの配線及び伝送ユニットの電源が入っていることを確認の上電源投入して下さい。信号が出ていない状態で電源を入れられますと、信号異常が発生し、ブザーが鳴動します。

EIAラック型表示盤（呼出表示用）の取扱方法

EDN147501, EDN147503, EDN147505

■各部の名称

■チャンネル（機器）番号、窓数、ブザー音の合わせ方（P.56“調整手順書”も参照してください）

プリント基板上の各設定スイッチで設定してください。

設定	音
0 0	「ビビビビ…」
0 1	「ビビビッ、ビビビッ、…」
1 0	「ビー、ビー、…」
1 1	「ビー…」

■操作方法

●壁掛型表示盤（呼出表示用）と同じです。前々の前ページをご覧ください。

■ご注意

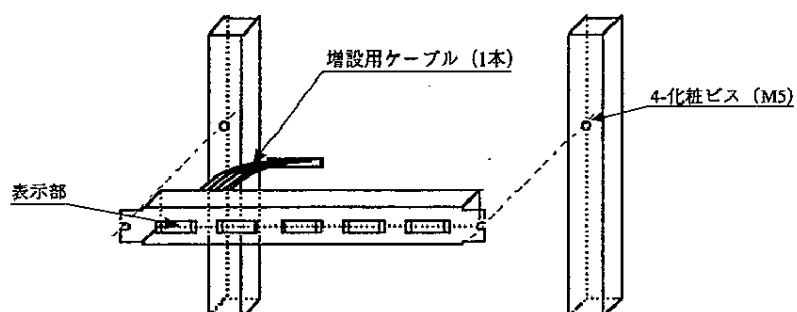
●チャンネル（機器）番号の設定は、本機器及び伝送ユニット（M型）（EDN72201K）の電源を必ず非通電状態にしてから行ってください。通電状態でチャンネル（機器）番号を設定しますと、誤動作の原因となります。

●瞬時停電時には本機器の表示が一瞬消えますが、異常ではありません。伝送ユニット（M型）よりデータを再送しますので元の状態に自動復帰します。

●電源投入時１度ブザーが鳴りますが異常ではありません。

●電源投入の際は、各システムの配線及び伝送ユニットの電源が入っていることを確認の上電源投入して下さい。信号が出ていない状態で電源を入れられますと、信号異常が発生し、ブザーが鳴動します。

EIAラック型表示盤（5窓・増設用）（呼出表示用）の取扱方法
EDN146505

■各部の名称

本器はEIAラック型表示盤（呼出表示用）の一部（追加窓）としての機能のみを有し、制御機能をもちません。よって各設定は増設用ケーブルにて接続するEIAラック型表示盤（呼出表示用）側で行ってください。また本器で操作もしません。

■ご注意
●呼出表示用システムには異常検出の機能があります。本書P.16の“伝送ユニット（M型）（EDN72201K）の取扱方法”をご参照ください。

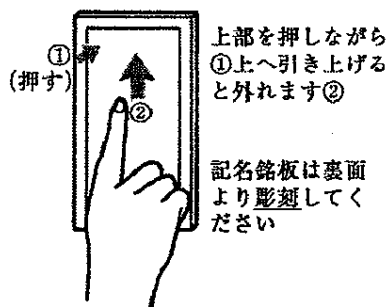
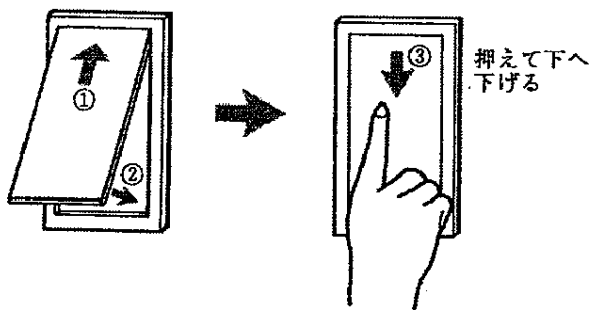
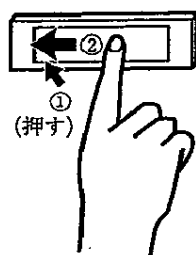
表示盤には記名用銘板が付属されておりません。別途下記の記名用銘板を購入してください。銘板の彫刻も別途承ります。

銘板	窓寸法	タテ100mm×ヨコ30mm			
	材　質	透明アクリルに裏面黒色シルク印刷		乳半アクリル	
	品　番	ED5184（4枚入り・未彫刻）		ED5185（4枚入り・未彫刻）	
彫刻	彫刻文字寸法	2〜3文字 市長 収入役	4〜6文字 総務部長 都市開発部長	2〜3文字 市長 収入役	4〜6文字 総務部長 都市開発部長
	一文字の大きさ	20mm×20mm	14mm×14mm	20mm×20mm	14mm×14mm
	文字の太さ	1.7mm	1.2mm	1.7mm	1.2mm
適　用		壁掛型表示盤（EDN11□3□□） 表示ユニット（EDN12□□□□） 壁掛型表示盤（呼出表示用）（EDN1463□□）			

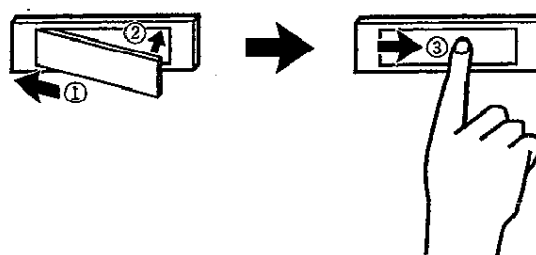
銘板	窓寸法	タテ130mm×ヨコ40mm			
	材　質	透明アクリルに裏面黒色シルク印刷		乳半アクリル	
	品　番	ED51837707（1枚入り・未彫刻未彫刻）		ED51827707（1枚入り・未彫刻）	
彫刻	彫刻文字寸法	2〜3文字 市長 収入役	4〜6文字 総務部長 都市開発部長	2〜3文字 市長 収入役	4〜6文字 総務部長 都市開発部長
	一文字の大きさ	27mm×27mm	17mm×17mm	27mm×27mm	17mm×17mm
	文字の太さ	2.3mm	1.4mm	2.3mm	1.4mm
適　用		壁掛型表示盤（大型用）（EDN1149□□）			

EIAラック型表示盤には下記の未彫刻記名用銘板が付属しています。

銘板	窓寸法	タテ12mm×ヨコ40mm
	材　質	乳半アクリル
	品　番	ED51927707（1枚入り・未彫刻）
彫刻	彫刻文字寸法	2〜5文字 1　階　取調室3　トイレ　1階トイレ
	一文字の大きさ	7mm×7mm
	文字の太さ	0.6mm
適　用		EIAラック型表示盤（呼出表示用式）（EDN1475□□）

■記名銘板のとりはずし方

■記名部のはめ方

タテ12mm×ヨコ40mmの場合

左部を押しながら①←へ
引き上げると外れます②

記名銘板は裏面より彫刻
してください

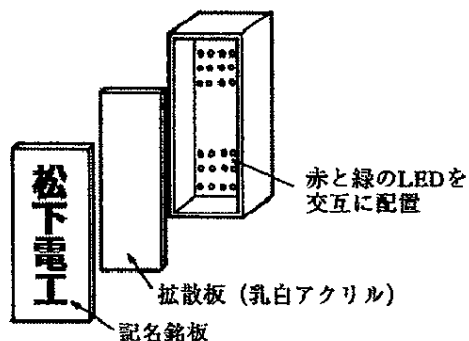
タテ12mm×ヨコ40mmの場合

押えて右へずらす

■表示器の構造

●LED方式

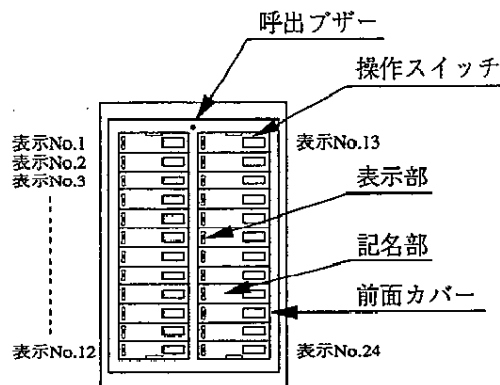
4モード　　　緑・赤のLED発光色の組合せにより、緑→赤→橙→消灯
　　　　　　　をくり返します。

2モード・緑　緑のLED発光色により、緑→消灯をくり返します。

2モード・赤　赤のLED発光色により、赤→消灯をくり返します。

●表示色とLEDの関係

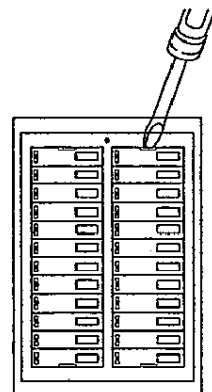
LED / 表示	緑	緑
緑	○	
赤		○
橙	○	○
消灯		

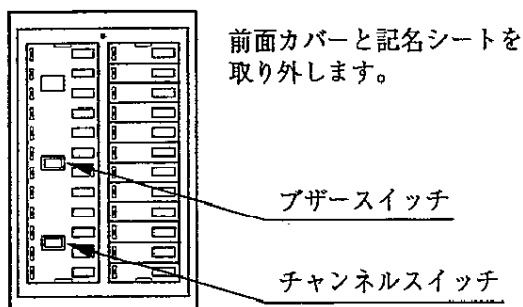
壁掛型操作器（24窓）（応答連絡用）（EDN462324）の取扱方法

■各部の名称

■記名部の記入方法

●前面カバーをあけてください。

●記名シートを取り出して該当部分に、ボールペンなどで記入します。

●前面カバーは「パチン」と音がするところまで押しつけてとりつけてください。

■チャンネル番号の合せ方（P.56“調整手順書”も参照してください）

●左側の前面カバーと記名シートを取り外し、チャンネルスイッチで合せます。（1～120まで可能）

8 4 2 1	チャンネル番号	名前番号
	1	1～24
	2	25～48
	3	49～72
	4	73～96
	5	97～120

●表示No.に応じたチャンネル番号に設定してください。

■ブザースイッチの設定

●内蔵ブザーの吹鳴のON-OFFはブザースイッチを切換えて設定して下さい。

ON　OFF

■増設ブザー用リレー接点出力について

●出　　力：無電圧a接点出力

●接点容量：AC125V 2A（抵抗負荷）

DC30V 2A（抵抗負荷）

■操作方法

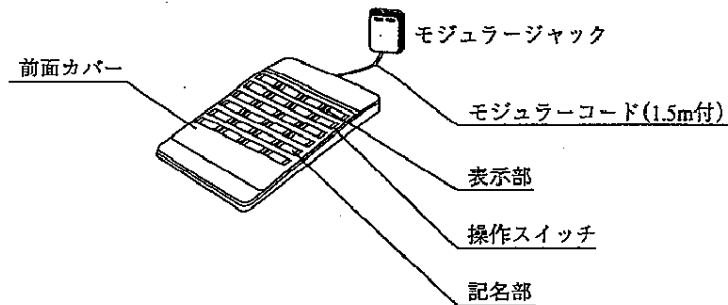
●本器の各表示操作部と連動して別の機器の同じ名前（場所）のところを点灯／消灯またはブザー鳴動／停止をさせます。（P.16伝送ユニット（M型）の取扱説明を御参照ください。）

■ご注意

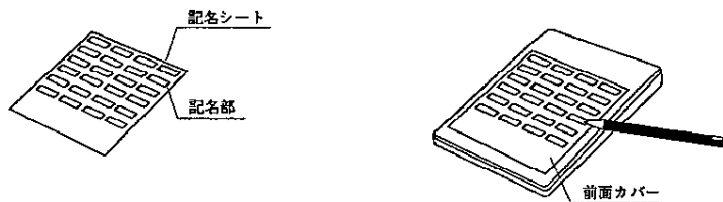
●表示窓数が24名以上必要な場合は2台（48名分）、3台（72名分）と並べて設置、使用できます。

卓上型操作器（24窓）（応答連絡用）（EDN462124）の取扱方法

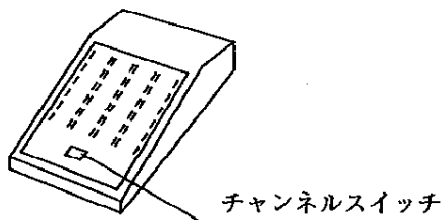
■各部の名称

●各窓に表示部と操作スイッチがついています。

■記名部の記入方法

●シャープペンシルまたはボールペンの先などで前面カバーをあけてください。

●記名シートを取り出して該当部分に、ボールペンなどで記入します。

●前面カバーは手で曲げながら引掛部分に差し込んで固定します。

■チャンネル番号の合せ方（P.56“調整手順書”も参照してください）

●前面カバーを外して、チャンネルスイッチで合わせます。

8 4 2 1	チャンネル番号	名前番号
	1	1～24
	2	25～48
	3	49～72
	4	73～96
	5	97～120

●表示No.に応じたチャンネル番号に設定してください。

■操作方法

●本器の各表示操作部と連動して別の機器の同じ名前（場所）のところを点灯／消灯またはブザー鳴動／停止をさせます。（P.16伝送ユニット（M型）の取扱説明を御参照ください。）

■ご注意

●表示窓数が24名以上必要な場合は2台（48名分）、3台（72名分）と並べて設置、使用できます。

露出型操作器（個別用）（応答連絡用）（EDN462201）の取扱方法

■各部の名称

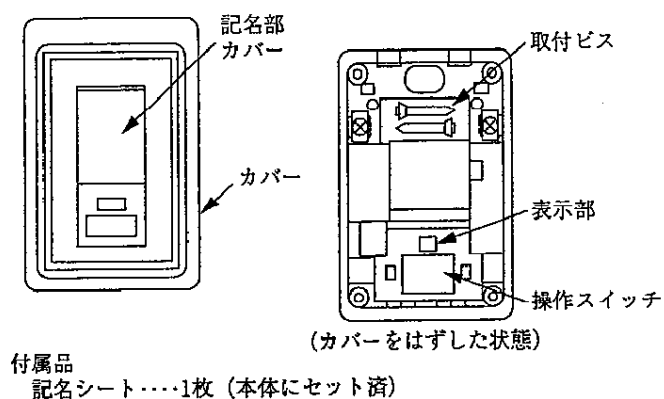
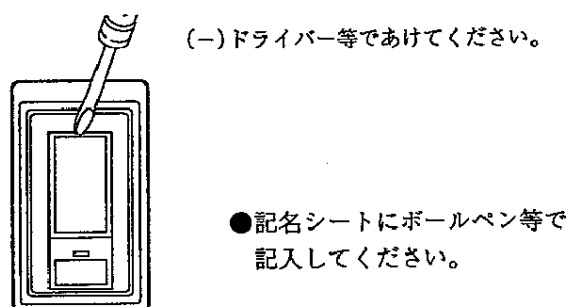
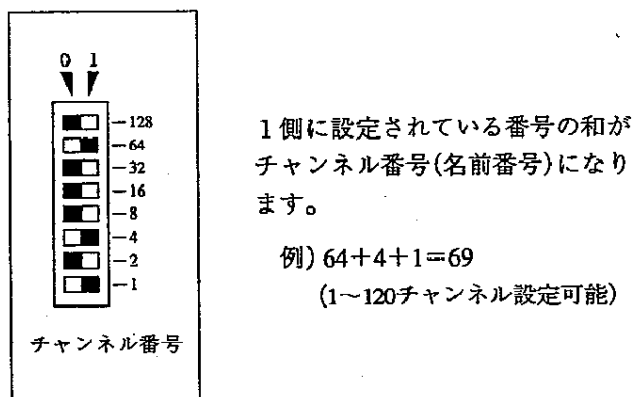
付属品
記名シート････1枚（本体にセット済）

■記名部の記入方法

●記名シートにボールペン等で記入してください。

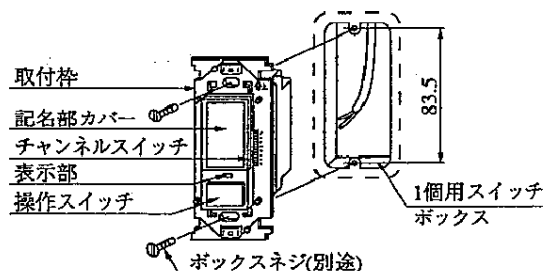
■チャンネル（機器）番号の合せ方（P.56“調整手順書”も参照してください）

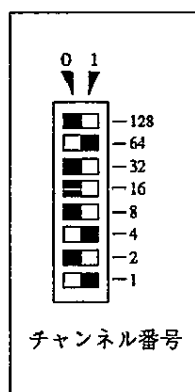
1側に設定されている番号の和がチャンネル番号(名前番号)になります。

例) 64+4+1=69
(1～120チャンネル設定可能)

■操作方法

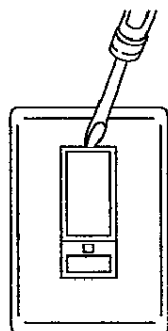
●本器と連動して別の機器の同じ名前（場所）のところを点灯／消灯またはブザー鳴動／停止をさせます。
（P.16伝送ユニット（M型）の取扱説明を御参照ください。）

埋込型操作器（個別用）（応答連絡用）（EDN462401）の取扱方法

■各部の名称

※ブザー内蔵

■チャンネル（機器）番号の合せ方（P.56 "調整手順書" も参照してください）

1側に設定されている番号の和がチャンネル番号(名前番号)になります。

例) 64+4+1=69
(1～120チャンネル設定可能)

■記名部の記入方法

(一) ドライバー等であけてください。

●記名シートにボールペン等で記入してください。

■操作方法

●本作器と連動して別の機器の同じ名前（場所）のところを点灯／消灯またはブザー鳴動／停止をさせます。（P.16伝送ユニット（M型）の取扱説明を御参照ください。）

《A》出退表示、呼出表示の場合

[1] チャンネルスイッチ設定表作成

(1) 表示したい名前を名前番号の順に記入してください。

■添付のチャンネルスイッチ設定表を使用してください。

[2] 各機器のチャンネルスイッチ設定

■機器ごとにチャンネルスイッチの設定の仕方が異なりますのでご注意ください。

■チャンネルは〈1〉側に設定されている番号の和がチャンネル番号になります。

■各機器の同一チャンネルでの使用は10台迄可能です。

※黒く塗った方へスイッチレバーを設定してください。

機 器 名	設定できるチャンネル番号	チャンネルスイッチの位置
操作機（個別用） END494401、EDN494101、EDN494201 埋込型表示ランプ EDN494601、EDN594601 入力端末器 END812401、EDN812402	1～120	128 64 32 16 8 4 2 1 1 ～ 120
	255	全消灯用操作器として使用される場合は、左記のチャンネルを設定して下さい。(EDN594601)
壁掛型表示盤 EDN1113□□ EDN1123□□ EDN1143□□ EDN1149□□	137～140	128 64 32 16 8 4 2 1 137 ～ 140

機　器　名	設定できるチャンネル番号	チャンネルスイッチの位置
表示ユニット（4窓） EDN12□□04	225～254	128 64 32 16 8 4 2 1 / 1 0 225 ≀ 254
操作器・表示器（24窓） EDN494124、EDN494324 EDN594124、EDN594324	129～133	128 64 32 16 8 4 2 1 / 1 0 129 ≀ 133
卓上型操作器（個別用） （24窓表示器付） EDN694124	161～208	128 64 32 16 8 4 2 1 / 1 0 161 ≀ 208
卓上型操作器（28窓） EDN494128 卓上型表示器（28窓） EDN594128	209～212	128 64 32 16 8 4 2 1 / 1 0 209 ≀ 212
卓上型操作器（個別用） （28窓表示器付） EDN694128	213～220	128 64 32 16 8 4 2 1 / 1 0 213 ≀ 220
埋込型廊下灯 （個別用・復旧釦付） （呼出表示用） EDN447401K	17～ 26 （145～154）	8 4 2 1 / 1 0 17 145 別設定 ｜ 設定部 ≀ ≀ 26 154
表示盤（呼出表示用） EDN146301、EDN146303、 EDN146305、EDN146310、 EDN147501、EDN147503、 EDN147505	1 （121）	4 2 1 / 1 0 設定部 ｜ 別設定

■各機器のチャンネルスイッチの場所や合わせ方の詳細については、各機器の取扱方法をご参照ください。

■伝送ユニット（M型）（EDN72201K）、中継増幅器（EDN99202）、電源ユニット（操作器用）（EDN99201）などはチャンネル番号の設定の必要はありません。

［3］表示窓記名

■チャンネルスイッチ設定表にしたがって各表示器の表示窓に名前を記入、表示盤・表示ユニットには別売の未彫刻の銘板に彫刻しそれをセットしてください。

■名前の記入方法や彫刻銘板のセットの方法については各機器の取扱方法をご参照ください。

［4］電源投入

(1) 各機器間の配線チェック後、電源（AC100V）を供給します。

⚠注意　※信号ラインに誤ってAC100V、AC10V等、他の電源が印加されますと、すべての機器が破壊されますので充分ご注意ください。

(2) 電源表示LEDの点灯を確認します。

［5］表示モードの設定

(1) 伝送ユニットのケースを開けて、モード設定スイッチをテストモードに設定します。

(2) 「信号短絡灯LED」が点灯しないことを確認します。

(3) 「信号短絡灯LED」が点灯した場合、配線及び端子部の接続状態をもう一度チェックしてください。

(4) 各表示器が2窓ずつ「橙色」LEDで順次「点灯」した後「消灯」をくり返します。

■但し、壁掛型表示盤、表示ユニットが2モードの場合は「緑色」（「赤色」）LEDで順次「点灯」した後「消灯」をくり返します。

■未彫刻の黒地の記名銘板をセットした状態では点灯の確認が困難です。記名銘板をはずして確認してください。

■各表示器が2窓ずつ「点灯」「消灯」のくり返しを確認することによって各機器間の配線工事も確認できます。

(5) テストスイッチを〈0〉側にもどし、希望するモードのスイッチを〈1〉側にします。

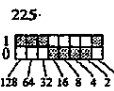
■いずれかのスイッチを〈1〉側にします。

(6) 確認

操作器を操作して、操作スイッチの名前と表示器、壁掛型表示盤、表示ユニットの名前が対応していることを確認してください。

■「4モード（緑ー赤ー橙ー消）の場合」…「緑」→「赤」→「橙」→「消灯」とLEDが変わります。

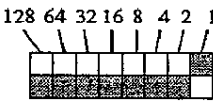
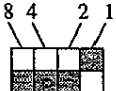
■「2モード（緑ー消）の場合」…「緑」→「消灯」とLEDが変わります。

■「2モード（赤ー消）の場合」…「赤」→「消灯」とLEDが変わります。

《B》連絡応答の場合

[1] チャンネルスイッチ設定表作成

（1）連絡応答したい名前を名前番号の順に記入してください。

■添付のチャンネルスイッチ設定表を使用してください。

名前番号	名前	操作器（個別用）埋込型ランプ操作器（個別用）（応答連絡用）	壁掛型表示盤（MAX30窓）	表示ユニット（4窓）	操作器（24窓）（応答連絡用）	操作器（24窓）表示器（24窓）	卓上型操作器（個別用）（24窓表示器付）	卓上型操作器（28窓）卓上型表示器（28窓）	卓上型操作器（個別用）（28窓表示器付）
1		1					161		213
2		2		225 1 0 128 64 32 16 8 4 2 1			162		214
3		3					163		215
4		4							

[2] 各機器のチャンネルスイッチ設定

■機器ごとにチャンネルスイッチの設定の仕方が異なりますのでご注意ください。

■チャンネルは〈1〉側に設定されている番号の和がチャンネル番号になります。

■各機器の同一チャンネルでの使用は10台迄可能です。

※黒く塗った方へスイッチレバーを設定してください。

機器名	設定できるチャンネル番号	チャンネルスイッチの位置
操作器（個別用）（応答連絡用）EDN462201、EDN462401	1～120	128 64 32 16 8 4 2 1 1（1/0） ～ 120（1/0）
操作器（24窓）（応答連絡用）EDN462324、EDN462124	1～5（129～133）	8 4 2 1 1（1/0） ～ 5（1/0）

■各機器のチャンネルスイッチの場所や合わせ方の詳細については、各機器の取扱方法をご参照ください。

■伝送ユニット（M型）（EDN72201K）、中継増幅器（EDN99202）などはチャンネル番号の設定の必要はありません。

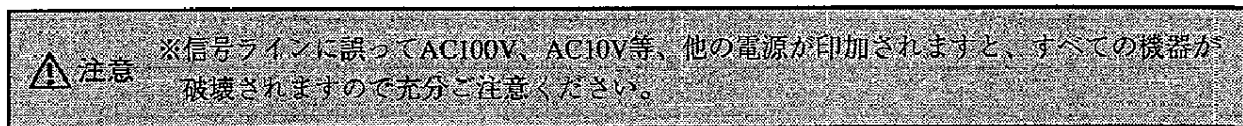
[3] 表示窓記名

■チャンネルスイッチ設定表にしたがって各操作器の表示部に名前を記入してください。

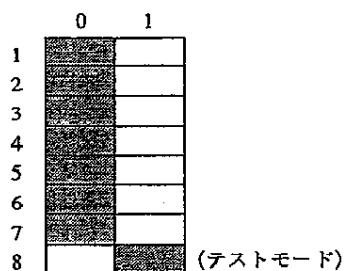
■名前の記入方法については各機器の取扱方法をご参照ください。

[4] 電源投入

(1) 各機器間の配線チェック後、電源（AC100V）を供給します。

> ⚠注意 ※信号ラインに誤ってAC100V、AC10V等、他の電源が印加されますと、すべての機器が破壊されますので充分ご注意ください。

(2) 電源表示LEDの点灯を確認します。

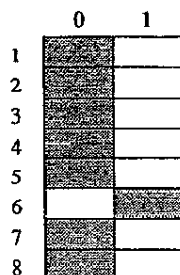
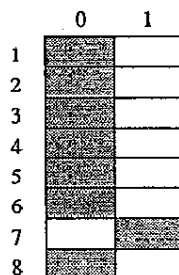
[5] 表示モードの設定

(1) 伝送ユニット（M型）のケースを開けて、モード設定スイッチをテストモードに設定します。

(2) 「信号短絡灯LED」が点灯しないことを確認します。

(3) 「信号短絡灯LED」が点灯した場合、配線及び端子部の接続状態をもう一度チェックしてください。

(4) 各表示器が2窓づつ「赤色」LEDで順次「点灯」した後、ブザーが鳴り、その後「消灯」をくり返します。

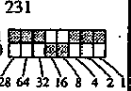
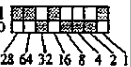
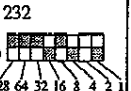
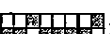
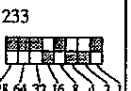
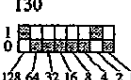
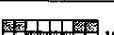
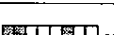
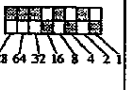
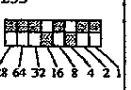
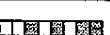
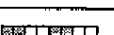
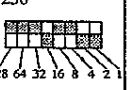
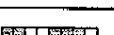
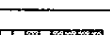
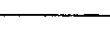
■各表示部が2窓づつ「点灯」「消灯」のくり返しを確認することによって各機器間の配線工事も確認できます。

(5) テストスイッチを〈0〉側にもどし、希望するモードのスイッチを〈1〉側にします。

■いずれかのスイッチを〈1〉側にします。

■ブザーを「連続」で鳴らす場合、スイッチ1を〈1〉側にしてください。

(6) 確認

操作器を操作して、対する機器の名前と対応していることを確認してください。

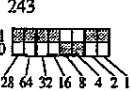
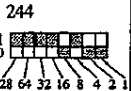
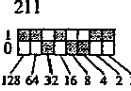
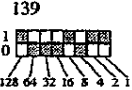
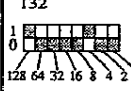
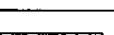
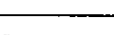
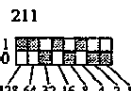
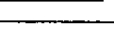
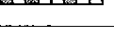
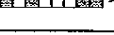
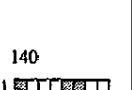
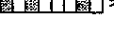
■「赤」→「消灯」とLEDが変わります。

出退表示、連絡応答用チャンネルスイッチ設定表
（EDN72201Kに接続する場合に適用）

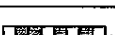
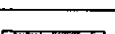
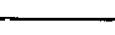
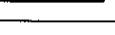
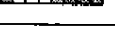
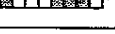
黒く塗った方へスイッチレバーを設定してください。

名前番号	名前	操作器（個別用）埋込型ランプ操作器（個別用）（応答連絡用）	壁掛型表示盤（MAX30窓）	表示ユニット（4窓）	操作器（24窓）（応答連絡用）	操作器（24窓）表示器（24窓）	卓上型操作器（個別用）（24窓表示器付）※1	卓上型操作器（28窓）卓上型表示器（28窓）	卓上型操作器（個別用）（28窓表示器付）※2
1		1					161		213
2		2		225			162		214
3		3					163		215
4		4					164		216
5		5					165		217
6		6		226			166		218
7		7					167		219
8		8					168		220
9		9					169		
10		10		227			170		
11		11	137		1	129	171	209	
12		12					172		
13		13					173		
14		14		228			174		
15		15					175		
16		16					176		
17		17					177		
18		18		229			178		
19		19					179		
20		20					180		
21		21					181		
22		22		230			182		
23		23					183		
24		24					184		

※１：1操作釦によって操作できる名前番号の割当てによってチャンネルが変わります。24窓分の表示は、名前番号1～24を表示します。
※２：1操作釦によって操作できる名前番号の割当てによってチャンネルが変わります。28窓分の表示は、名前番号1～28を表示します。

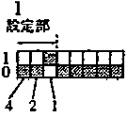
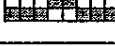
黒く塗った方へスイッチレバーを設定してください。

名前番号	名前	操作器（個別用）埋込型ランプ操作器（個別用）（応答連絡用）	壁掛型表示盤（MAX30窓）	表示ユニット（4窓）	操作器（24窓）（応答連絡用）	操作器（24窓）表示器（24窓）	卓上型操作器（個別用）（24窓表示器付）※3	卓上型操作器（28窓）卓上型表示器（28窓）
25		25	137	231	2	130	185	209
26		26					186	
27		27					187	
28		28					188	
29		29		232			189	210
30		30					190	
31		31	138				191	
32		32					192	
33		33		233			193	
34		34					194	
35		35					195	
36		36					196	
37		37		234			197	
38		38					198	
39		39					199	
40		40					200	
41		41		235			201	
42		42					202	
43		43					203	
44		44					204	
45		45		236			205	
46		46					206	
47		47					207	
48		48					208	

※3：1操作卸によって操作できる名前番号の割当てによってチャンネルが変わります。
24窓分の表示は、名前番号25～48を表示します。

黒く塗った方へスイッチレバーを設定してください。

名前番号	名前	操作器（個別用）埋込型ランプ操作器（個別用）（応答連絡用）	壁掛型表示盤（MAX30窓）	表示ユニット（4窓）	操作器（24窓）（応答連絡用）	操作器（24窓）表示器（24窓）	卓上型操作器（28窓）卓上型表示器（28窓）
49		49					
50		50		237			
51		51					210
52		52					
53		53					
54		54	138	238			
55		55					
56		56					
57		57					
58		58		239			
59		59			3	131	
60		60					
61		61					
62		62		240			
63		63					
64		64					211
65		65					
66		66	139	241			
67		67					
68		68					
69		69					
70		70		242			
71		71					
72		72					

※：ここ以後、卓上型操作器（個別用）（24窓表示器付）の割当てチャンネルはありません。

黒く塗った方へスイッチレバーを設定してください。

名前番号	名前	操作器（個別用）埋込型ランプ操作器（個別用）（応答連絡用）	壁掛型表示盤（MAX30窓）	表示ユニット（4窓）	操作器（24窓）（応答連絡用）	操作器（24窓）表示器（24窓）	卓上型操作器（28窓）卓上型表示器（28窓）
73		73					
74		74		243			
75		75					
76		76					
77		77					
78		78		244			211
79		79					
80		80					
81		81	139				
82		82		245			
83		83			4	132	
84		84					
85		85					
86		86		246			
87		87					
88		88					
89		89					
90		90		247			211
91		91					
92		92					
93		93	140				
94		94		248			
95		95					
96		96					

黒く塗った方へスイッチレバーを設定してください。

名前番号	名　前	操作器（個別用）埋込型ランプ操作器（個別用）（応答連絡用）	壁掛型表示盤（MAX30窓）	表示ユニット（4窓）	操作器（24窓）（応答連絡用）	操作器（24窓）表示器（24窓）	卓上型操作器（28窓）卓上型表示器（28窓）
97		97					
98		98		249 1 0 128 64 32 16 8 4 2 1			
99		99					
100		100					
101		101					
102		102		250 1 0 128 64 32 16 8 4 2 1			
103		103					
104		104					
105		105					
106		106		251 1 0 128 64 32 16 8 4 2 1			
107		107	140 1 0 128 64 32 16 8 4 2 1		5 1 0 8 4 2 1	133 1 0 128 64 32 16 8 4 2 1	212 1 0 128 64 32 16 8 4 2 1
108		108					
109		109					
110		110		252 1 0 128 64 32 16 8 4 2 1			
111		111					
112		112					
113		113					
114		114		253 1 0 128 64 32 16 8 4 2 1			
115		115					
116		116					
117		117					
118		118		254 1 0 128 64 32 16 8 4 2 1			
119		119					
120		120					

呼出表示用チャンネルスイッチ設定表
（EDN72201Kに接続する場合に適用）

黒く塗った方へスイッチレバーを設定してください。

名前番号	名　前	埋込型※ 廊下灯 （個別用・復旧釦付）（呼出表示用）	表示盤 （呼出表示用）
121		17	1 設定部 1 0 4 2 1
122		18	
123		19	
124		20	
125		21	
126		22	
127		23	
128		24	
129		25	
130		26	

※使用中表示をさせない場合は最上位ビットを「0」、
　可能にさせる場合は「1」にしてください。
　表中はトイレ緊急呼出表示モードの場合です。
　警報呼出表示モードにされたい場合は、最上位ビット
　を「1」にしてください。

	異 常 現 象	調査いただきたいこと（処置）
（出退表示用・呼出連絡表示用・応答連絡用）共通	全表示器が表示しない	■ 伝送ユニット（M型）及び端末に電源供給されていますか。 （電源ON直後やモードSW切替直後は、伝送ユニット内初期設定のため、約1分程動作できないことがあります。） ■ モード設定が正しく行なわれていますか。 ■ 信号短絡灯が点灯していませんか。 ■ 信号線は正しく接続されていますか。 途中断線等はありませんか。
	ある特定の表示器だけが表示しない	■ 表示器への電源供給は、されていますか。 ■ チャンネル設定は、正しく行なわれていますか。 ■ 信号線は正しく接続されていますか。 途中断線等はありませんか。
	表示LEDは点灯している部分も有るが操作できない	■ 伝送ユニットのモード設定スイッチは正しく設定されていますか。 ■ チャンネル設定は、正しく行なわれていますか。
	ある特定の操作器だけ操作できない	■ 操作器への電源供給はされていますか。 24窓の操作器・表示器（EDN□94124、EDN□94324）、28窓の操作器・表示器（EDN□94128）は、信号とは別にEDN99201による電源供給が必要です。 ■ チャンネル設定は、正しく行なわれていますか。 ■ 信号線は正しく接続されていますか。 途中断線等はありませんか。
	「テストモード」で表示しない	■ 各機器のチャンネル番号が正しくセットされているかを確認してください。

	異　常　現　象	調査いただきたいこと（処置）
共通	信号短絡灯LEDが点滅する	■ 信号線が短絡していると思われます。確認して下さい。 ■ 中継増幅器の入力と出力が逆になっていませんか。
出退表示用機器について	LEDの表示色がちがう	■ 伝送ユニット（M型）のモード設定スイッチが正しくセットされているかを確認してください。 ■モード設定スイッチを切り替えた時は、表示が正しい表示にもどるのに1分近く必要です。 ■ 応答連絡用操作器（EDN462□□□）と出退表示用操作器（呼出し以外）を混在使用されていませんか。
呼出表示用機器について	呼出表示用の各機器の取扱方法に書かれある“操作手順と動作内容”通りの動作をしない	■ 信号線の配線が正しく接続されているかを確認してください。 ■各機器のチャンネル番号が正しくセットされているかを確認してください。
	表示盤（呼出表示用）に以下の現象がある。 ・電源灯（緑）が消灯 ・故障表示灯（緑・橙・赤）が点灯	■ 表示盤（呼出表示用）に正しく電源が共給しているか確認してください。 ■伝送ユニットからの信号線が正しく接続されているか確認してください。 ■ 各機器のチャンネル番号が正しくセットされているか確認してください。 ■呼出用押釦が押したままになっていないか確認してください。
応答連絡用機器について	呼出し音が鳴動しない	■ 応答連絡用の操作器（EDN462□□□）を使用していますか。 ■呼出、又は、フロントコールモードに設定されていますか。 ■モード設定スイッチを切り替えた時は、表示が正しい表示にもどるのに1分近く必要です。 ■中継増幅器の必要がありませんか。

アフターサービス

●保証期間は1年間です。

本商品の保証期間はお買上げの日（ご使用開始）から1年間となっています。

●保証期間中の修理

チェックリストに従って調べていただき、なお、異常のあるときは伝送ユニット用の電源を「切」にしてから、お買上げの販売店または電気工事業者にご連絡下さい。

連絡していただきたい内容：

- ●製品名、品番、お買上げ日
- ●異常の状況（できるだけくわしく）
- ●ご住所、ご氏名、電話番号
- ●訪問ご希望日

●保証期間が過ぎているときの修理

お買上げの販売店へご依頼ください。修理すれば使用できる部品については、ご希望により有料で修理致します。

販売店にご依頼にならない場合は、本取扱説明書の最後のページのサービス会社にご連絡ください。

●定期的な点検（1年に1度）

この商品をより永く安全にお使い頂くためには定期的なメンテナンス（保守点検）が必要です。次ページの「チェックリスト」の項目について、販売店または電気工事業者にご相談ください。

●補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、納入後10年です。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

付録（重要）　屋外での信号伝送（光伝送）について

屋外において、電線による信号配線は行わないでください。雷サージの影響により回路基板が故障するおそれがあります。
屋外での信号伝送には光変換器をお使いください。次のどちらかの組み合わせにてお使い願います。
- BNA57001（送信機）とBNA57002（受信機）　…①
- BNA57005（送信機）とBNA57006（受信機）　…②

送信機と受信機間の配線距離は次の通りです。
- ①の場合、最大1km
- ②の場合、最大3km

①②どちらの場合も、1台の送信機に受信機を最大10台まで接続できるため、そうした場合、配線を次の距離まで延長可能です。
- ①の場合、最大10km
- ②の場合、最大30km

送信機入力への電線の接続の際は、電線のシールド線を必ず送信機のシールド端子に接続してください（送信機内部で"シールド"端子と"アース"端子はつながっていませんので信号系統において２点アースとなる心配はありません）。
さらに、受信機出力への電線の接続の際、電線のシールド線を必ず受信機の"シールド"端子に接続してください。また"アース"端子をアース接続し、受信機以降の電線系統を受信機側の１点アースとしてください（受信機内部で"シールド"端子と"アース"端子はつながっています）。

これらの光変換器の施工・取扱においては必ず、光変換器に付属の取扱説明書に従って行ってください。また"MECS用端末器　技術マニュアル'97.3月版"P51,52のご参照をお薦め致します。

御注意

（1）　本取扱説明書の内容の一部又は全部を、無断転載・無断複写することは禁止されています。

（2）　本取扱説明書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

（3）　製品の内容についいは、万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがお気付きの点がございまたら、ご連絡ください。

（4）　運用した結果の影響については、本取扱説明書の内容にかかわらず、責任を負いかねますのでご了承ください。

メンテナンスのお問い合わせは

北海道	北海道松下電工テクノサービス（株） ＴＥＬ　011-747-4832
東　北	松下電工エンジニアリング（株）　東北支社 ＴＥＬ　022-225-5282
関　東	松下電工エンジニアリング（株）　東京支店 ＴＥＬ　03-5476-2105
中　部	松下電工エンジニアリング（株）　中部支社 ＴＥＬ　052-451-1421
近　畿	松下電工エンジニアリング（株）　近畿支店 ＴＥＬ　06-910-0138
中　国	松下電工エンジニアリング（株）　中国支社 ＴＥＬ　082-247-3539
九　州	松下電工エンジニアリング（株）　九州支社 ＴＥＬ　092-523-9623
	松下電工（株） ＢＡ・セキュリティシステム事業部 品質保証部 ＴＥＬ　06-908-1997

平成９年３月現在

お問い合わせ先（社名・住所・部署名・電話番号の入ったゴム印を押して、お施主様にお渡し下さい）